オークリッジスーパー
施工マニュアル
OAKRIDGE®SUPER™ INSTALLATION MANUAL

オークリッジスーパー

施工説明書

目次

１：安全上の注意事項	２ページ
２：設計施工基準	３ページ
３：本体施工上の注意事項	４ページ
４：オークリッジスーパー使用部材表	５ページ
５：下地防水紙の施工	７ページ
６：軒先唐草の施工	８ページ
７：ケラバ木下地とケラバ水切の施工	９ページ
８：スターターの加工と施工	１１ページ
９：本体の施工（遵守事項）	１３ページ
１０：捨板水切りの施工と出隅の取り合い施工と水平棟施工（板金仕様）	１５ページ
１１：隅棟の施工（板金仕様）	１７ページ
１２：本谷の仕上げ施工	１９ページ
１３：換気棟の施工（板金仕様）	２１ページ
１４：同室棟の施工	２３ページ
１５：各部納まり	２５ページ
１６：片棟･方形屋根の棟施工	３１ページ
１７：天窓の納まり	３６ページ

安全上の注意事項

オークリッジスーパーを安全にご使用していただくため、施工前に必ずお読みいただき正しくご使用ください。
なお、この商品は専門施工が必要ですので、工事は必ず屋根専門工事業者様にご依頼ください。
また、オークリッジスーパーを屋根以外には使用しないでください。
オークリッジスーパーは、住宅などの屋根材として十分満足していただける品質を備えておりますが、耐久性や対候性などの諸機能は、正しい施工（標準施工）を行うことによってはじめて発揮されるものです。よって必ず正しい施工（標準施工）を実施していただくようにお願いいたします。

警告	死亡または重傷を負う可能性が想定される場合の表示です。

●落下事故の危険性がありますので、強風・雨天・降雪時の高所作業は中止してください。
●高所作業は関連法規に従って行ってください。
●金属部材は電線などに接触しないように取扱い、施工してください。感電の恐れがあります。
●高所や基準を超える積雪のある地域などオークリッジスーパーの使用可能地域外での使用は製品不具合や施工上危険を招く恐れがありますので避けてください。
●雨や雪、露などで屋根面が濡れている場合は施工しないでください。滑り落ちる可能性があります。
●屋根施工後は役物の上に乗らないでください。また屋根材の上の歩行は極力避け、やむを得ず歩行する際は慎重な歩行を心がけてください。
●屋根面にむやみに端材、工具など物を置かないでください。滑り落ち、怪我や器物破損の恐れがあります。
●固定していない屋根材、役物の上には絶対乗らないでください。滑り落ちる可能性があります。

注意	使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損傷の発生が想定される場合の表示です。

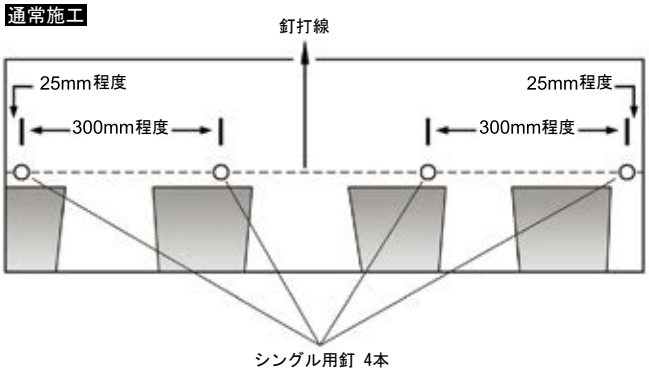
●建築基準法、消防法、建築用途、施工地域に適合した使用をしてください。
●働きやすい服装、滑りにくい履物など、作業に適したものを着用してください。
●作業の際にはヘルメット、滑り止め付手袋や保護メガネ等の適切な保護具を着用してください。
●工事期間中、毎日の作業終了後には屋根面を清掃してください。
●電動工具などをご使用の際は各工具の取扱説明書にしたがって正しくご使用ください。また、その配線などは漏電しないものを使用してください。
●梱包部材、残材などは産業廃棄物として処分してください。
●屋根面に足場を組む場合は必ず養生板を敷いてください。
●はしごをかける場合は、当て木を使い、かつ滑らないように固定してください。また、作業は必ず 2 人で行ってください。
●釘打ちの振動でオークリッジスーパーが滑り落ちる恐れがありますので、十分注意してください。
●作業中、足場から屋根面に飛び降りたり、物を落としたりしないでください。破損などが生じ、雨漏りなど不具合の原因となります。

設計施工基準

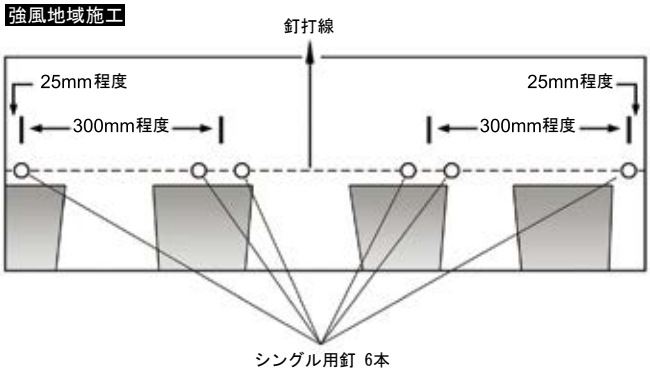
●建物の高さは 13m 以下としてください。

●基準風速が38m/ｓ以上の地域では強風地域専用工法（釘6本留め）にて施工を行ってください。

通常施工



強風地域施工



●結露防止のため、住宅金融支援機構仕様書に準じた小屋裏換気を必ず設けてください。

●屋根勾配は原則3.5寸(約19.5°)以上、17寸(約60°)以下としてください。
勾配が2寸(約11.3°)以上3.5寸未満(緩勾配)の場合は、下葺材を片面粘着式防水紙としてください。

●多雪地域においては、勾配に関係なく下葺材を片面粘着式防水紙としてください。

●多雪地の場合、断熱欠損によるスガモレが発生する場合がありますので、適切な小屋組まわりの断熱処理をほどこされた後、屋根下地を施工するようにしてください。

勾配と最大流れ長さ

勾配		2.0寸-3.5寸(未満)	3.5寸-17寸
一般地域	最大流れ長さ	30m	
	下葺材	片面粘着式防水紙 (JISA 6005 適合品以上)	JISA 6005 適合品以上
多雪地域	最大流れ長さ	30m	
	下葺材	片面粘着式 (JISA 6005 適合品以上)	

保管上の注意

●倉庫・現場での保管は必ずパレットにのせて保管してください。

●倉庫での保管は、パレット（64 ケース / パレット）は 2 段積み以下にしてください。

●現場での保管は高さ 1m 以下にしてください。

●本体やセルフシーラントは、濡れると接着しなくなりますので、雨がかからない場所に保管するか養生シートで覆ってください。

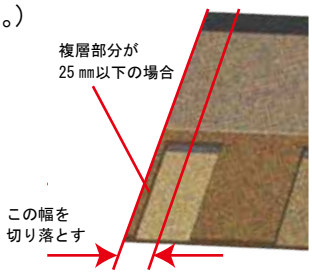
●梱包したままで折り曲げないでください。本体が割れるおそれがあります。また棟などにまたいで置いたままにしないでください。

本体施工上の注意事項

●施工前、製品本体ウラ面（足先側）にセルフシーラントが確実についていることをご確認ください。
（セルフシーラントがついていないと突風などによりオークリッジスーパーが飛散する恐れがあります。）
なおセルフシーラントが接着能力を発揮するまでの期間は季節によって異なります。
オークリッジスーパー用専用シングルセメントを必ず併用して施工してください。
また 10 寸を超える急勾配屋根ではオークリッジスーパー自体の自重がかかりにくくなりセルフシーラントが十分に接着しない場合がございます。施工の際にはオークリッジスーパー専用シングルセメントを所定位置に塗布（必要に応じて増し打ち）のうえ、十分に圧着してください。

●オークリッジスーパー施工の際、釘打ちは必ず釘打ちラインを目安とした複層部分に行ってください。
製品上部カットなどでやむを得ず釘打ちライン以外の場所に釘打ちをする際は、製品複層部に釘打ちしてください。（釘頭が屋根面に露出してしまう場合はシングルセメント処理してください。）

●オークリッジスーパー複層部の幅が 25 ㎜以下となる場合、当該部分は経年ではがれやすくなるため、本体施工時にあらかじめ当該部分を含む製品端部を切り落として施工してください。製品本体には製造上、最初から端部において複層部分の幅が非常に狭いものが含まれておりますがご了承願います。



●オークリッジスーパー本体の割り付け上、小幅物が出る場合は幅を 150 ㎜以上としてください。
なお製品が自着するまでのバタつきを考慮し、幅 300 ㎜以上とすることをおすすめします。

●夏場屋根面が 60℃以上を超える環境下では施工後の屋根材面の歩行は極力お控えください。
製品のうねり（波打ち）、ひび割れの原因となります。
やむを得ず歩行する際は歩み板を敷くなどの処置を講じ、踏みズレには十分に留意してください。
●冬場、外気温が 5℃以下となる場合は、原則オークリッジスーパーの施工はお控えください。
製品のうねり（波打ち）、ひび割れの原因となります。
やむを得ず低温時に施工する際は、日なたなどでオークリッジスーパーを温め、製品が屋根面になじむようになってから施工を行ってください。

●開梱後、オークリッジスーパー本体裏面部のセルフシーラントを下にした状態での仮置きは避けてください。
セルフシーラントが熱により屋根面に溶着するおそれがあります。

●雨天後の施工は、事前に屋根下地の状態を確認し、濡れている場合には施工は行わないでください。
施工する場合には必ず乾燥した状態で施工を行ってください。

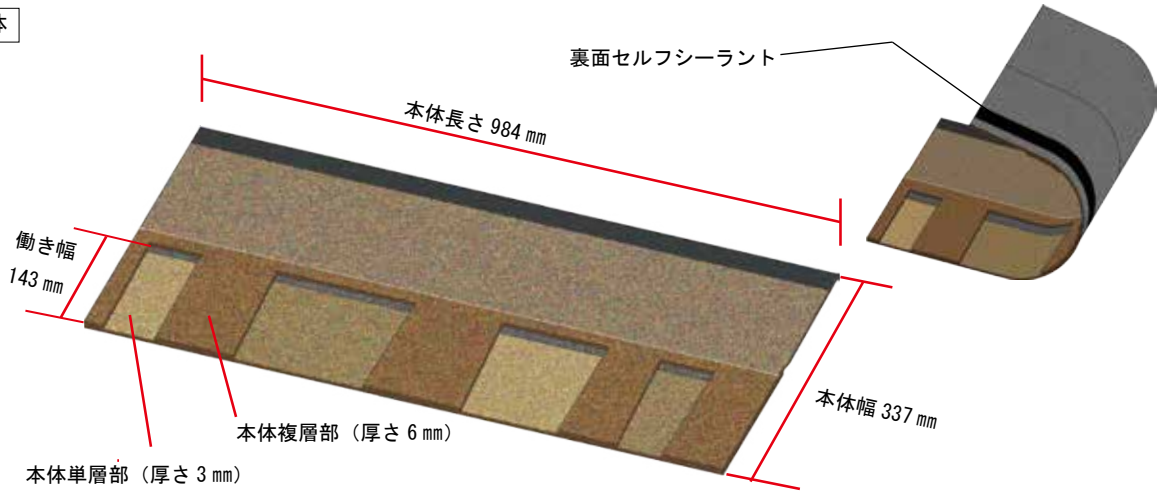
オークリッジスーパーの製品特性について

●オークリッジス―パーはアスファルトを原材料のひとつにしているため、夏期は柔らかく、冬期はかたくなる性質があります。特に冬期施工時には屋根形状になじむまでに若干時間がかかることがございますので、あらかじめご了承願います

●オークリッジスーパーの石落ちについて
本製品では製品表面の粒状石が雨樋やベランダ部やカーポート等に落下もしくは飛散する現象がみられる場合がございますが、これはアスファルトシングル表面の製造上生じた余分な石粒が落下もしくは飛散するもので、製品劣化や製品品質の異常ではありません。
また粒状石粒は天然石を着色したもので、有害物質は含まれておりません。
また雨樋を詰まらせるものではございません。

使用部材表

オークリッジスーパー本体

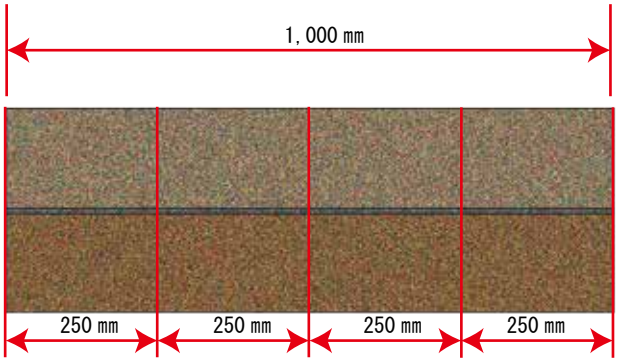


1 ㎡あたり約 7.1 枚使用
梱包枚数：16 枚
重量　　：1.7ｋｇ/ 枚
梱包重量：27 kg

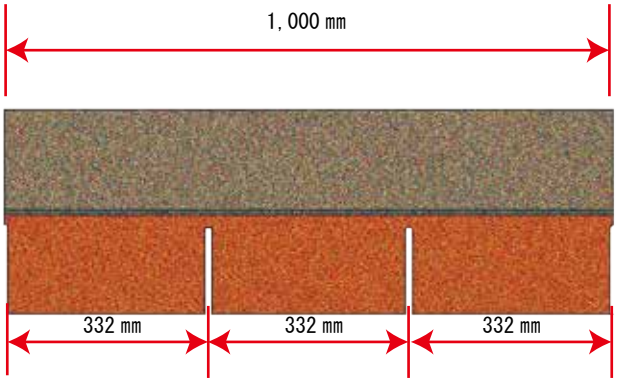
同質棟材:ヒップ＆リッジ

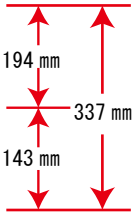
選択された色によって下記同質棟材をご使用ください。

●通常規格品



●ハーバーブルー・テラコッタブレンド使用時

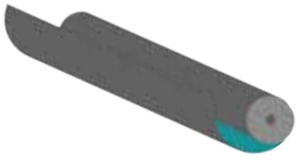




現地調達材（本体・下地防水施工関連）

専用シングルセメント

シングルセメントはお取扱店さまから
必ず専用のものをお求めください。
（不具合の原因になります。）



下地防水紙

厚み 1 ㎜以上 JIS A6005 規格品
以上

シングル用ロール釘

長さ：25 ㎜以上
頭径：8.5 ㎜～ 12 ㎜程度
胴径：3 ㎜以上
スチール電気メッキ処理品以上

ステンレス釘

板金部材留めつけ用
長さ 38 ㎜以上で
リングネイル・頭着色
品をご使用ください。

木下地用ビス

木下地・壁際留めつけ用
長さ 65 ㎜程度でスチール
電気メッキ処理品以上を
ご使用ください。

その他現地調達材
（本体・下地防水施工関連）

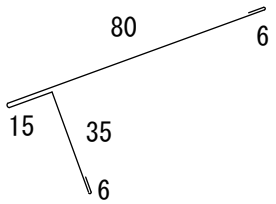
●90×18 ㎜防腐処理済木材
（棟・隅棟・壁際の下地に使用）

●45×18 ㎜防腐処理済木材
（ケラバの下地に使用）

●シリコン
（板金の重ねや防水処理が必要な
箇所で使用します。）

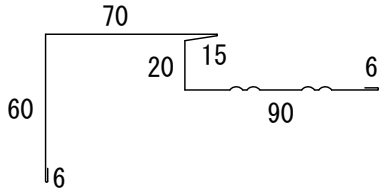
●吊子
（板金で加工谷板金の留めつけ用）

①軒先唐草Ｔ(OC-115)



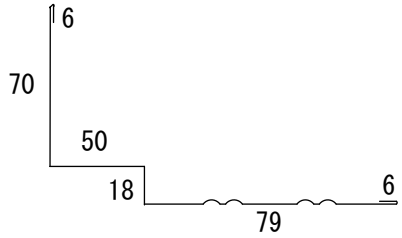
板厚 0.35 ㎜ガルバリウム鋼板 L= 1,820 ㎜

②ケラバ水切り 60 (OC-202)



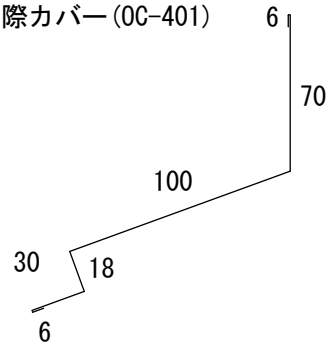
板厚 0.35 ㎜ガルバリウム鋼板 L= 1,820 ㎜

③捨板水切り 18(OC-502)



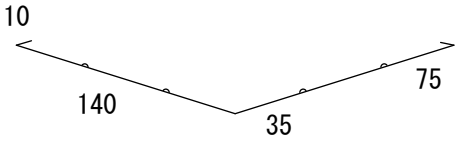
板厚 0.35 ㎜ガルバリウム鋼板 L= 1,820 ㎜

④壁際カバー(OC-401)



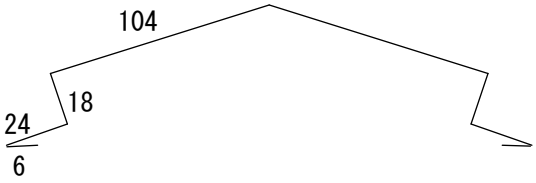
板厚 0.35 ㎜ガルバリウム鋼板 L= 1,820 ㎜

⑤谷板金(OC-535H)



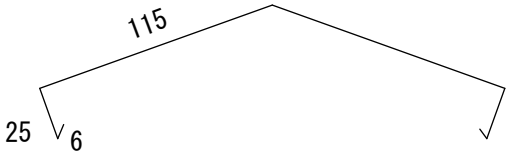
板厚 0.35 ㎜ガルバリウム鋼板 L= 1,820 ㎜

⑥棟板金(OC-301)



板厚 0.35 ㎜ガルバリウム鋼板 L= 1,817㎜

⑦換気棟カバー(フラットベンツＳＫ用) (OC-300)



板厚 0.35 ㎜ガルバリウム鋼板 L= 1,820 ㎜

(推奨現地調達品・板金部材(①-⑦)お問い合わせ先)
株式会社ヨネキン
<()内の品番でお問い合わせください>
本社/営業課
大阪府和泉市テクノステージ1-5-7
TEL 0725-51-3030
東京支店
東京都中央区日本橋本石町4-5-12 友泉本石町ビル9F
TEL 03-3517-3131

<ご参考>オークリッジスーパーのカラーと
ヨネキン様展開カラーについて

ヨネキン様スーパーGL対応色

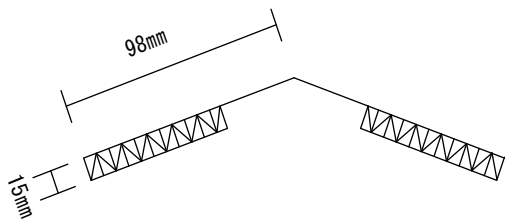
オークリッジスーパー	:	ヨネキン様カラー
・オニキスブラック	:	Z91K
・ブラウンウッド	:	Z71K
・エステートグレー	:	Z51K
・シャトーグリーン	:	Z31K

ヨネキン様耐摩カラーGL対応色

オークリッジスーパー	:	ヨネキン様カラー
・テラコッタブレンド	:	No528
・ハーバーブルー	:	No513
・デザートタン	:	TB008

※上記はあくまでご参考としての提示です。
現物/カラーサンプル等をご確認いただき、
施主様とご相談の上ご決定願います。

⑧フラットベンツＳＫ(推奨換気棟材)



ポリプロピレン製　Ｌ＝1,212㎜

(推奨現地調達品　換気棟材お問い合わせ先)

伊藤忠建材株式会社
開発営業部市場開発課
東京都中央区日本橋本町 2-7-1NOF 日本橋本町ビル５Ｆ
TEL 03-3661-1381

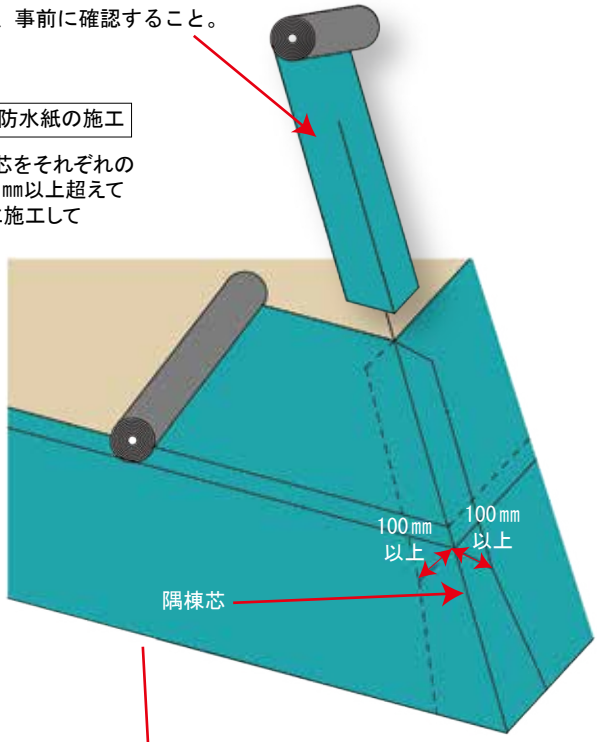
オークリッジスーパー施工マニュアル

＊住宅会社・各種機構などでの
独自基準で隅棟に増し張り設定の
場合もあるので、事前に確認すること。

下地防水紙の施工

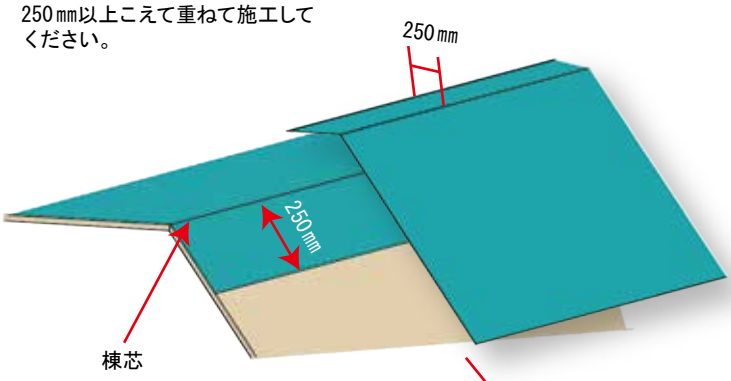
隅棟の下地防水紙の施工

隅棟は隅棟芯をそれぞれの
方向から100㎜以上超えて
重なるように施工して
ください。

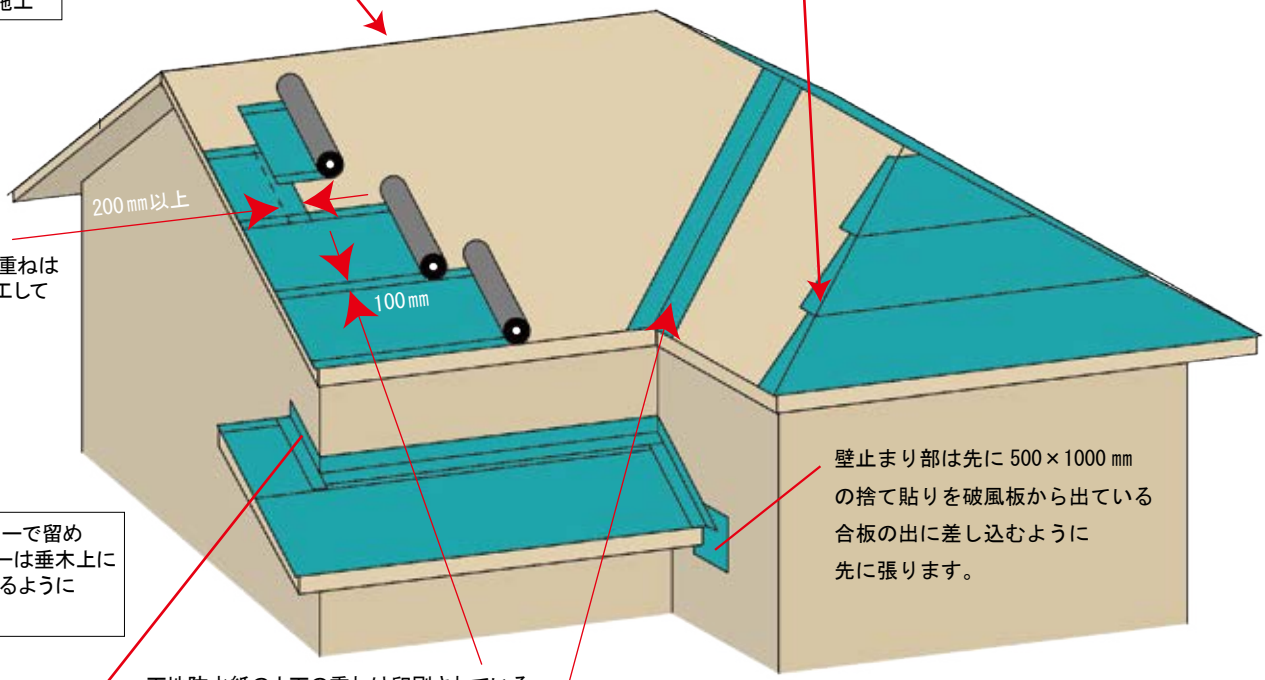


棟の下地防水紙の施工

棟はそれぞれの方向から棟芯を
250㎜以上こえて重ねて施工して
ください。



下地防水紙の基本施工



下地防水紙の左右の重ねは
200㎜以上重ねて施工して
ください。

壁止まり部は先に 500×1000 ㎜
の捨て貼りを破風板から出ている
合板の出に差し込むように
先に張ります。

下地防水紙はタッカーで留め
つけます。 タッカーは垂木上に
できるだけ留めつけるように
施工してください。

下地防水紙の上下の重ねは印刷されている
100㎜の重ねに合わせて重ねて施工して
ください。

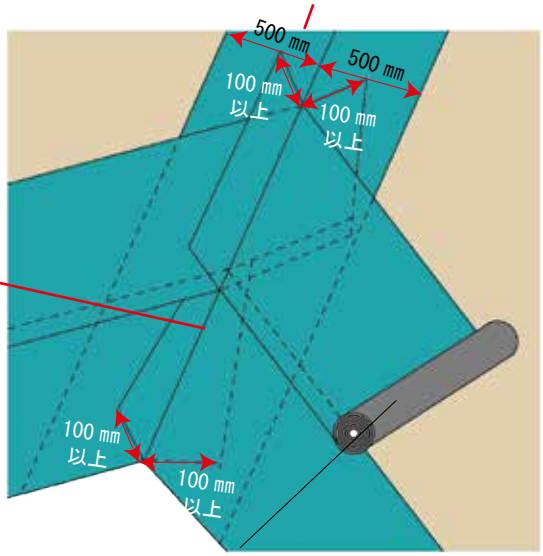
壁際下地防水紙の施工

壁際の立ち上がりは250㎜以上
とり、出隅・入隅部はピンホール
を起こさないようにしてください。
また壁面に間柱や柱が露出して
いる納まりの場合は壁際立ち上
がりを屋根面250㎜、立ち上がり部
250㎜増し張りをしてください。

谷の下地防水紙の施工

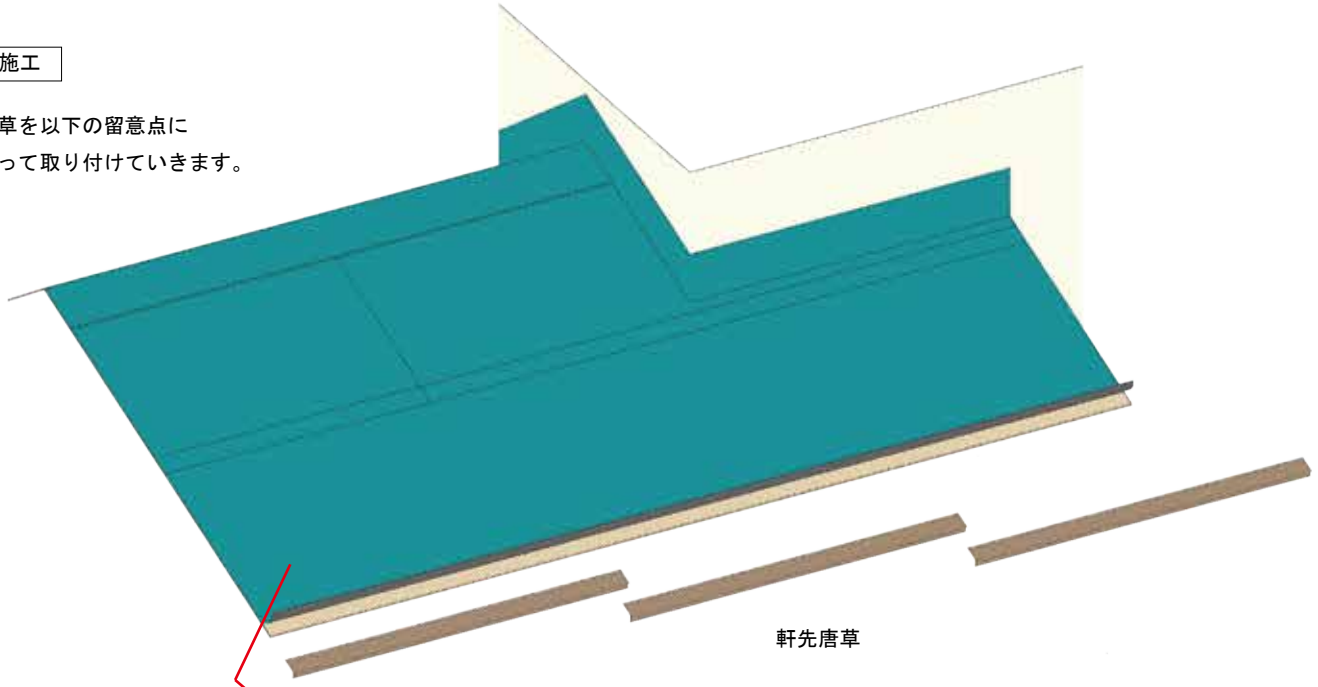
谷は500㎜幅の増し張りを谷芯をセンターに
施工したあとにそれぞれの方向から100㎜
以上超えて重なるように施工してください。→
（谷芯付近にタッカーを留めつけないこと）

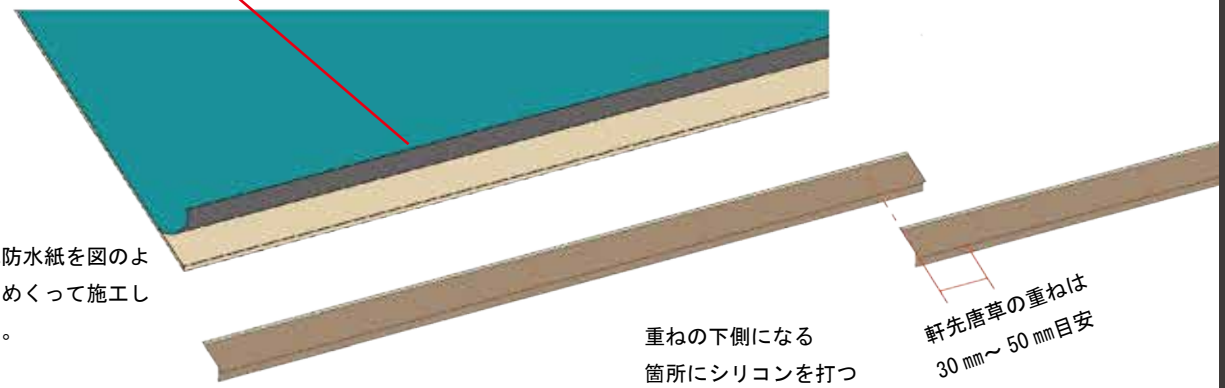
先行して1000㎜幅の下地防水紙を
谷芯から500㎜ずつ捨て張り



軒先唐草の施工

軒先唐草を以下の留意点に
したがって取り付けていきます。





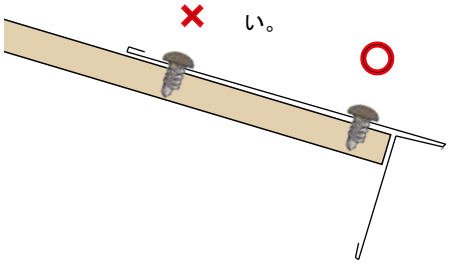
下地防水紙を図のよ
うにめくって施工し
ます。

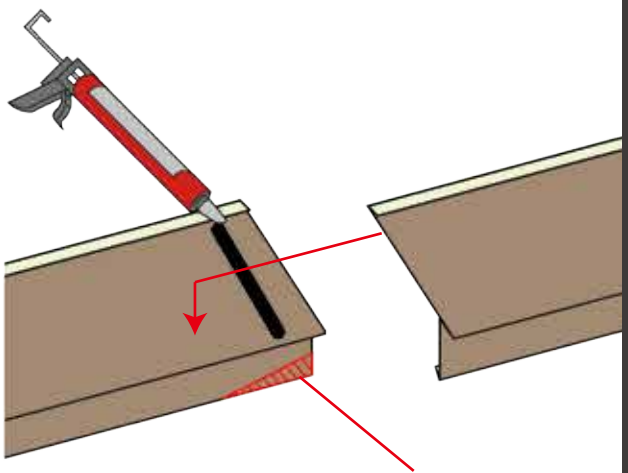
軒先唐草の重ねは
30 ㎜～ 50 ㎜目安

重ねの下側になる
箇所にシリコンを打つ

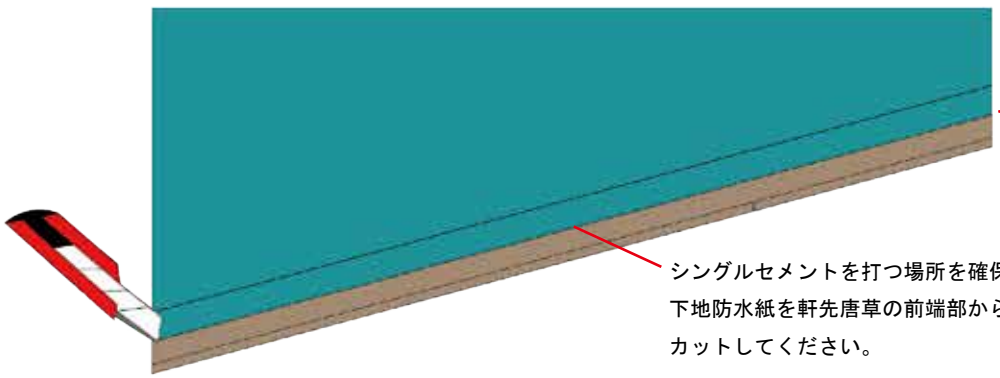
軒先唐草の上端部にビス留め
すると軒先唐草が風であおられる
恐れがあります。

軒先唐草は 4×13
などの短いビスで
屋根下地先端部に
留めつけてくださ
い。





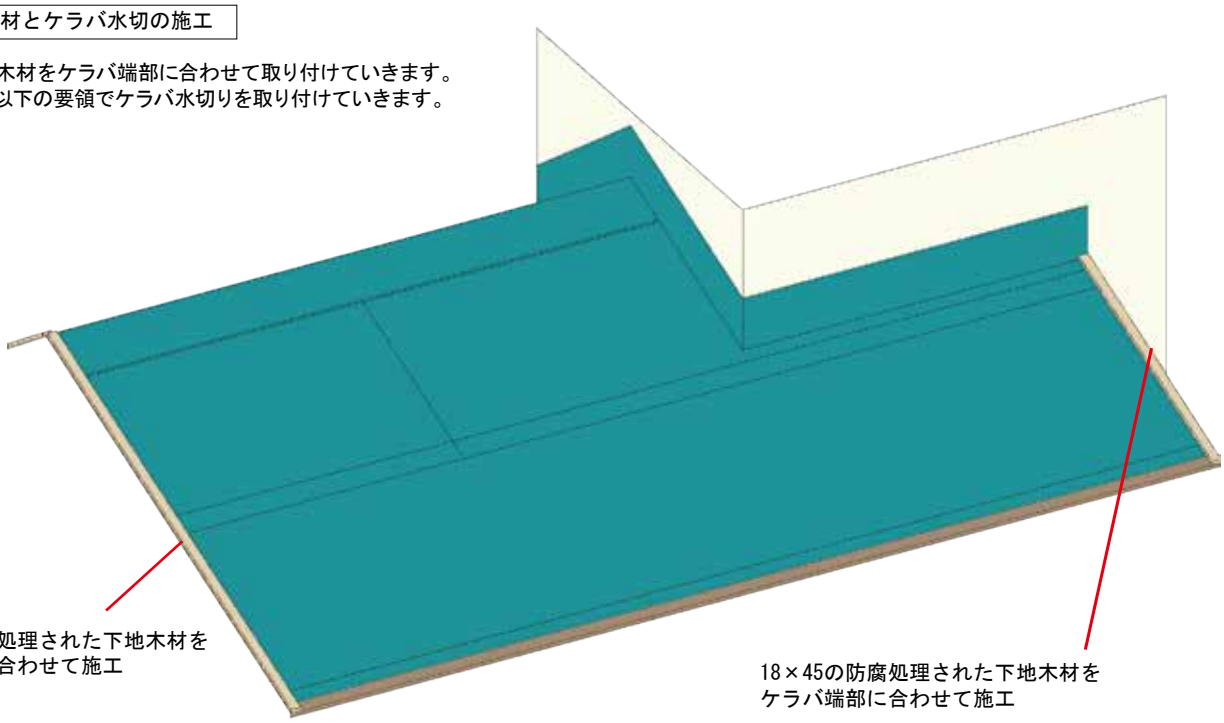
重ねの下側になる
斜線部は鋏でカットする。



シングルセメントを打つ場所を確保するため、
下地防水紙を軒先唐草の前端部から約 30 ㎜
カットしてください。

ケラバ下地木材とケラバ水切の施工

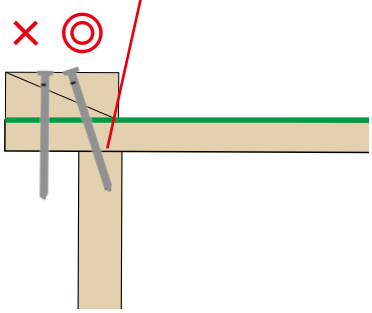
18×45の下地木材をケラバ端部に合わせて取り付けていきます。
取り付け後に以下の要領でケラバ水切りを取り付けていきます。

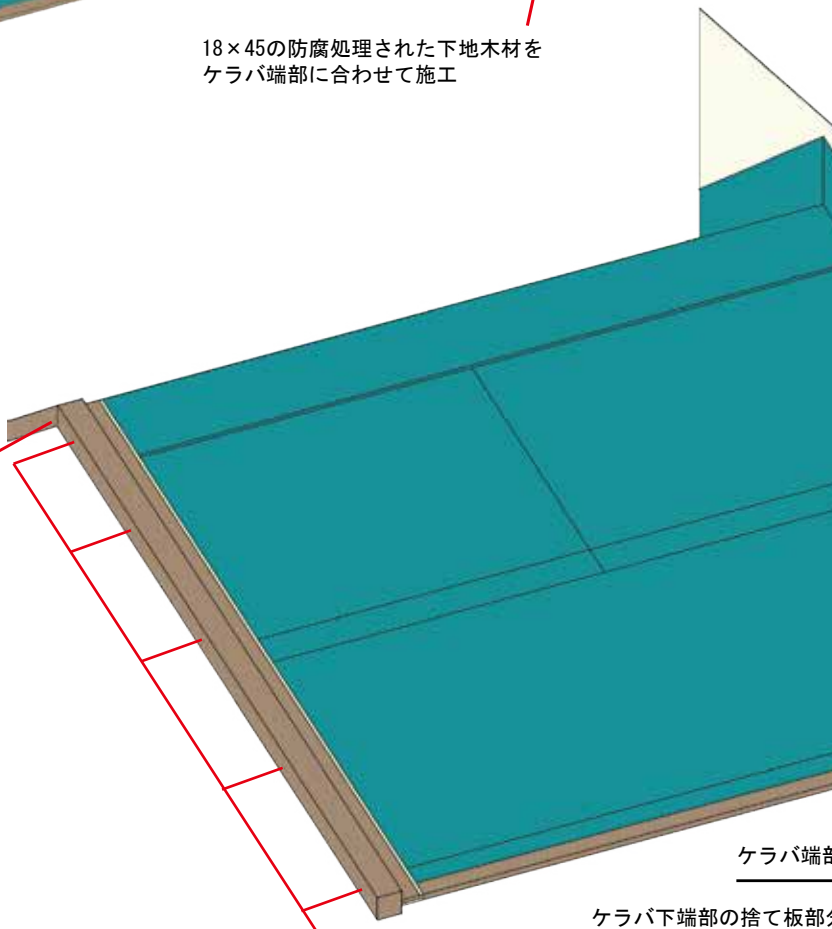


18×45の防腐処理された下地木材を
ケラバ端部に合わせて施工

18×45の防腐処理された下地木材を
ケラバ端部に合わせて施工

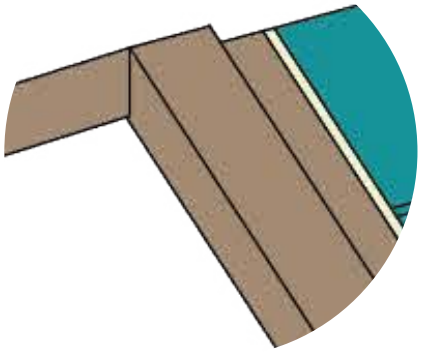
ケラバ下地を留めつける釘または
ビスは左図のように破風板に効かせる
ようにしてください。





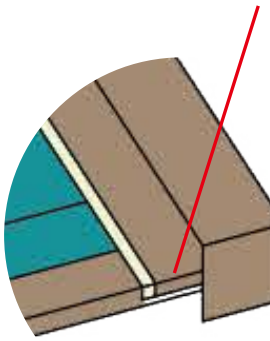
ケラバ水切の棟納まり：

ケラバ水切を下図のように合わせるように
納めます。その際上部に納まる方のケラバ水切の
捨て板部は棟芯を 15 ㎜ほど越すように納めます。



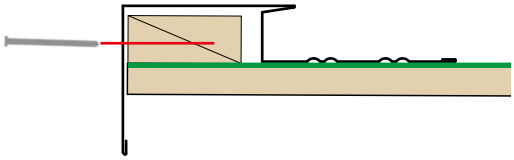
ケラバ端部

ケラバ下端部の捨て板部
折下げて、改修用軒先スタ



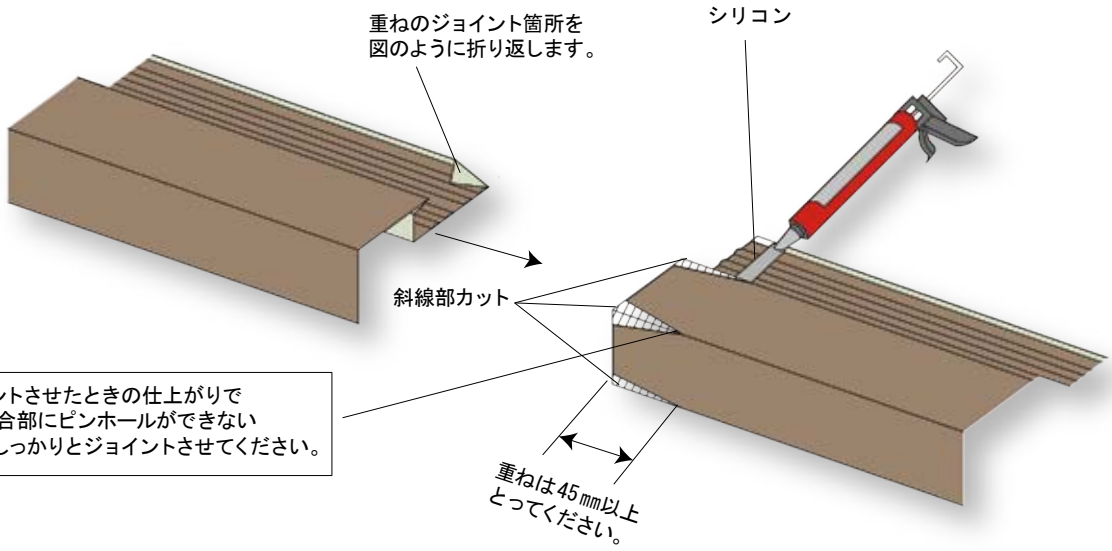
ケラバ水切の釘留め：

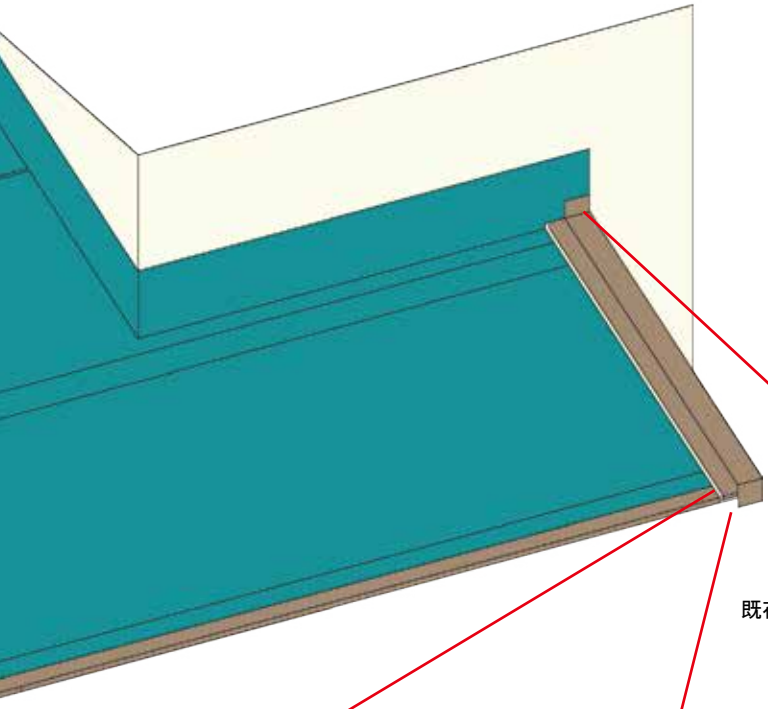
ケラバ水切は下図のようにケラバ木下地に
ステンレス釘で釘止めします。釘の間隔は
455 ㎜以内に留めつけてください。

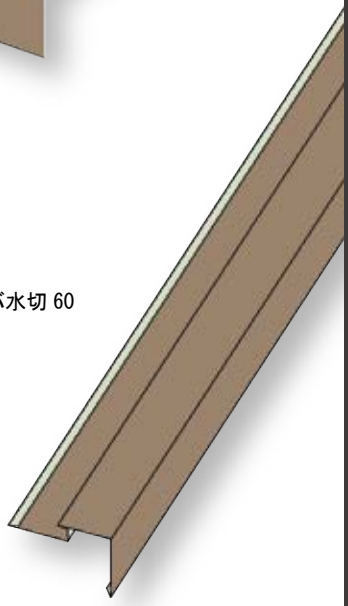


ケラバ水切のジョイント：

以下の注意点を守って取り付けていきます。

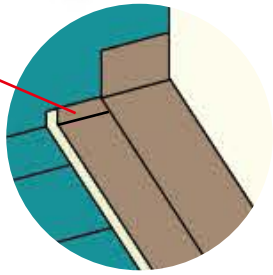






ケラバ上端部の加工：

ケラバ上端部は左図の例のように
既存雨押えと取り合う箇所のケラバ水切の
捨て板部を立ち上げ、カバーの部分も
壁に当たる箇所で立ち上げ加工します。

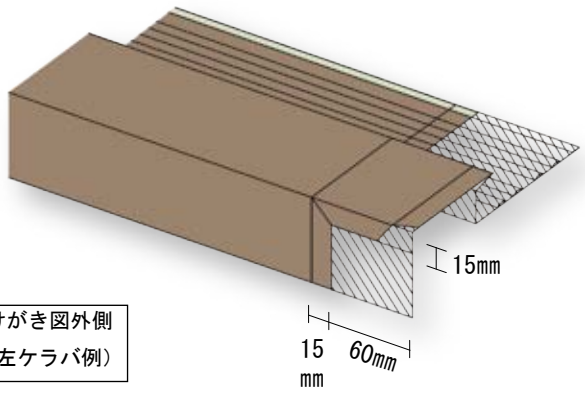


部と軒先唐草の取り合い：

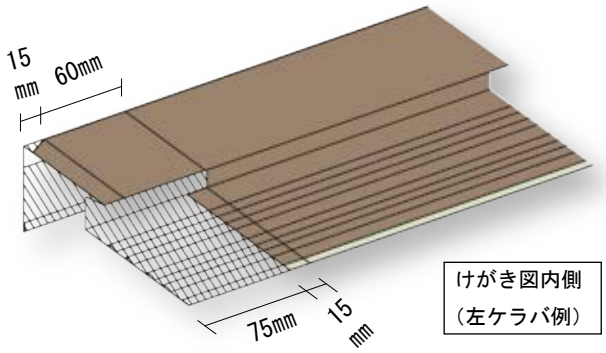
分を 15 ㎜ほど下図のように
ーター前端部と揃うように
納めてください。

ケラバ下端部の加工：

ケラバ下端部は下図の例のように
けがき小口をふさぐ加工をします



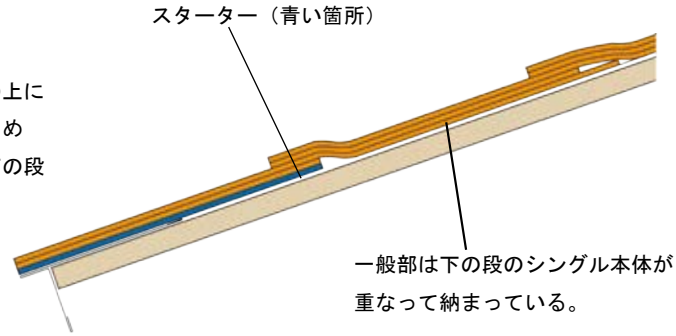
けがき図外側
（左ケラバ例）



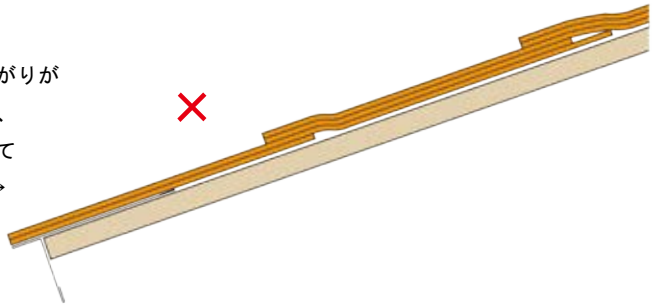
けがき図内側
（左ケラバ例）

スターターの製作

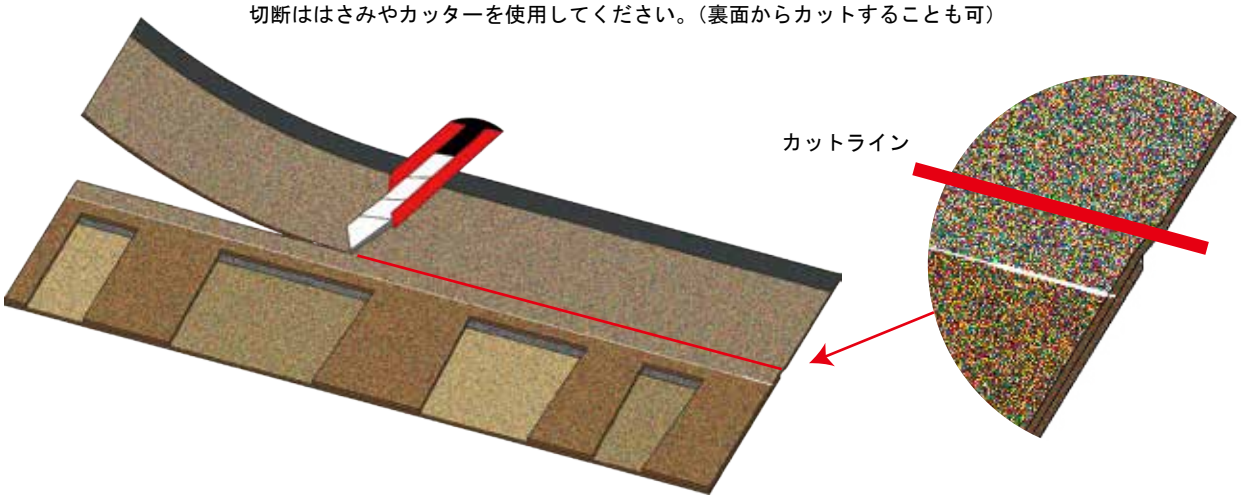
アスファルトシングルの一般部は下の段のシングル本体の上に
重ねて施工していきますが、軒先部だけは下の段がないため
一般部とおなじ傾斜にするために軒先に一般部の重なる下の段
と同じ幅のシングルを入れて施工します。
この部材をスターターと呼んでいます。

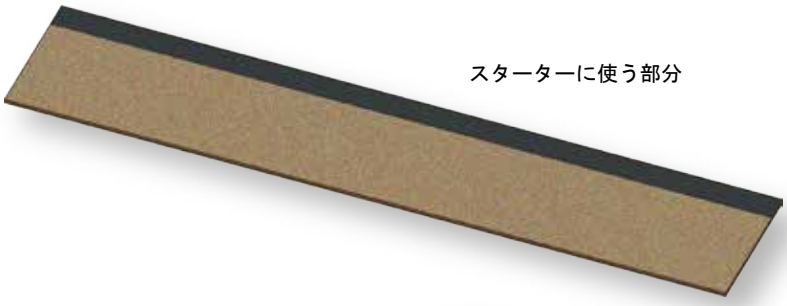


軒先にスターターを入れないと軒先部の仕上がりが
右図のように下がって見えてしまうばかりか、
部分的にシングル１枚で納まる個所が発生して
しまうために耐風性能的にも好ましくない。→

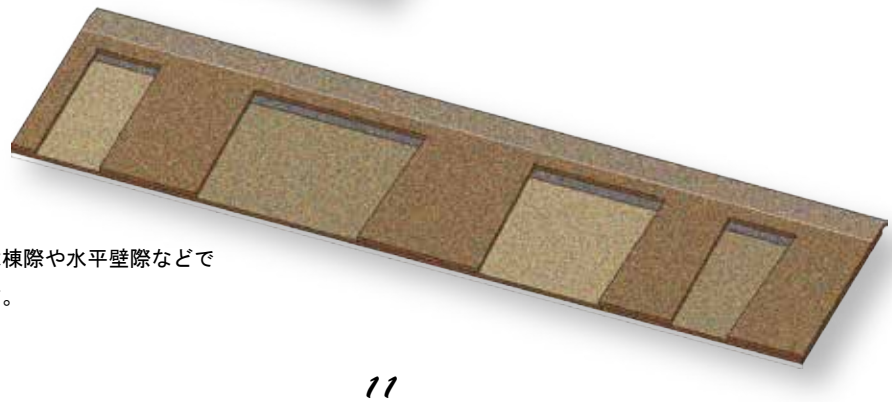


スターターはシングル本体上部の１層になっている箇所をカットして使用します。
切断ははさみやカッターを使用してください。（裏面からカットすることも可）





スターターは軒先の長さ分製作してください。
カットした残りの部分は棟際や水平壁際などで
ほぼ使いますので、丁寧に保管してください。

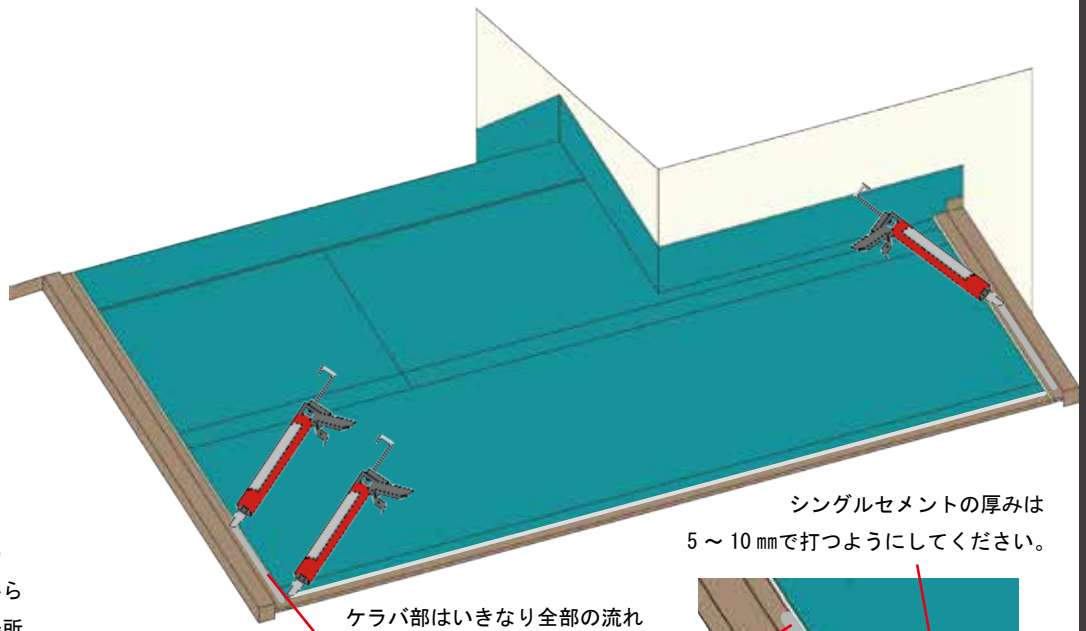


残った箇所は棟際や水平壁際などで
ほぼ使います。

スターターの施工（シングルセメントの塗布）

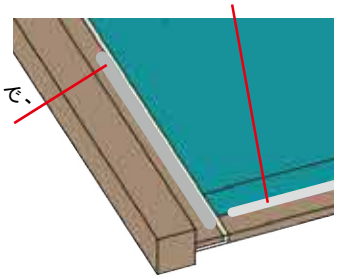
スターターを施工する前に
シングルセメントをケラバ捨板
と軒先唐草Ｔの上に線状に
塗布してください。

軒先唐草Ｔ上の
シングルセメントは施工する
軒先すべてに塗布します。
できるだけ前端部に打つことが
理想ですが、前すぎてシングルの
スターターが乗った時に前端部から
セメントがはみ出さないような場所
を考慮して打ち込んでください。



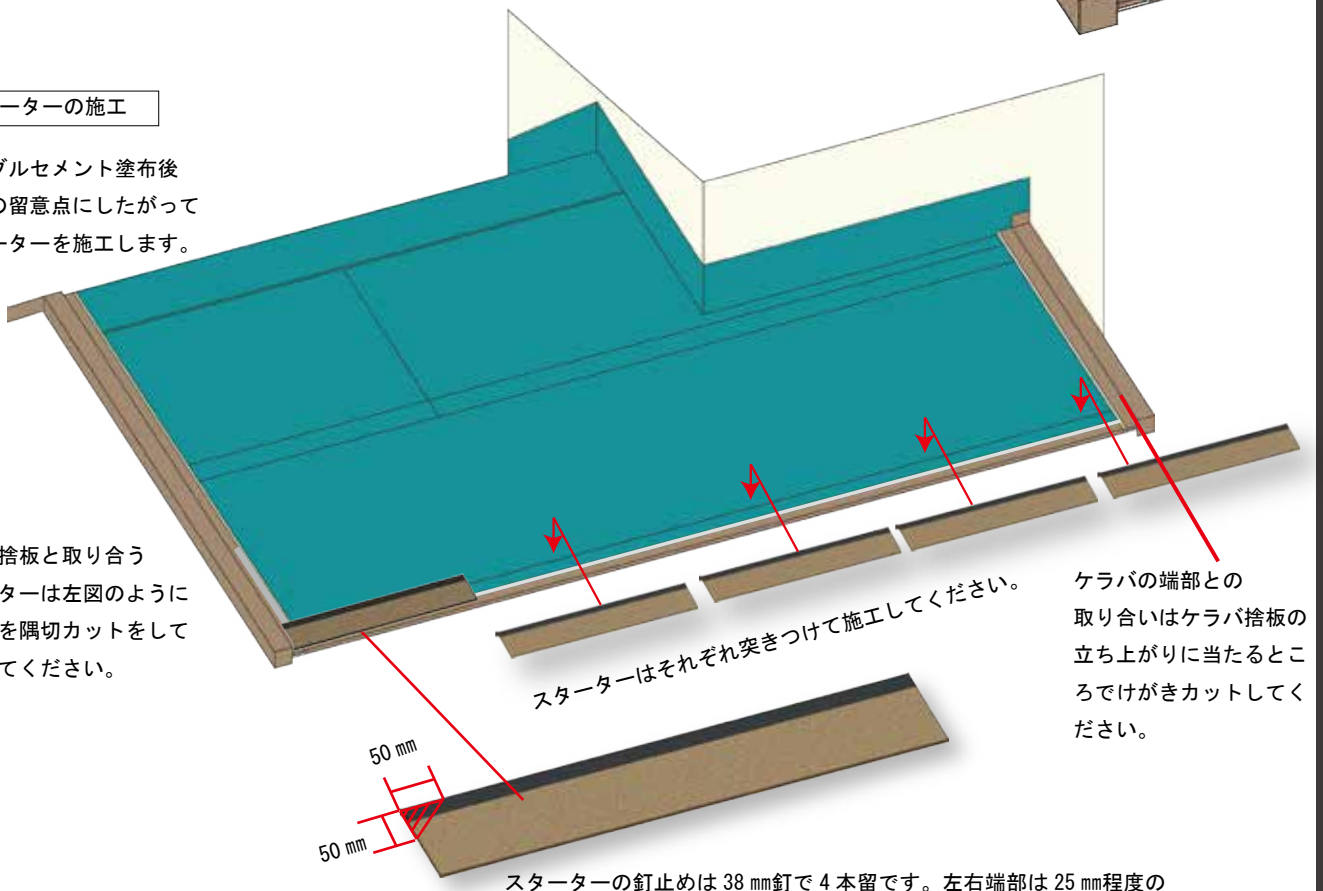
ケラバ部はいきなり全部の流れ
を塗布すると硬化する場合があるので、
シングル数段ごとに打ち込むように
してください。

シングルセメントの厚みは
5 ～ 10 ㎜で打つようにしてください。



スターターの施工

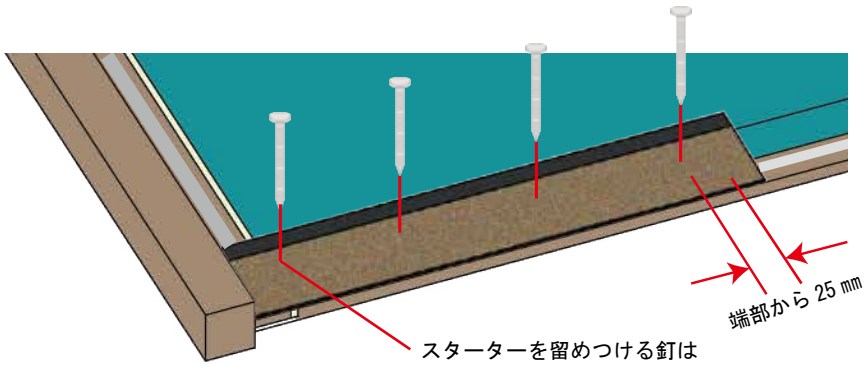
シングルセメント塗布後
以下の留意点にしたがって
スターターを施工します。



ケラバ捨板と取り合う
スターターは左図のように
上端部を隅切カットをして
施工してください。

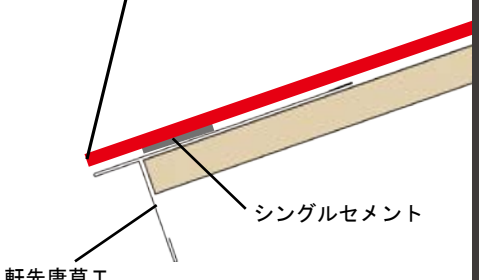
ケラバの端部との
取り合いはケラバ捨板の
立ち上がりに当たるところでけがきカットしてください。

スターターの釘止めは 38 ㎜釘で 4 本留です。左右端部は 25 ㎜程度の
位置に打ちます。真ん中の 2 本は均等に打ってください。
＊強風施工地域の場合は 6 本留にしてください。



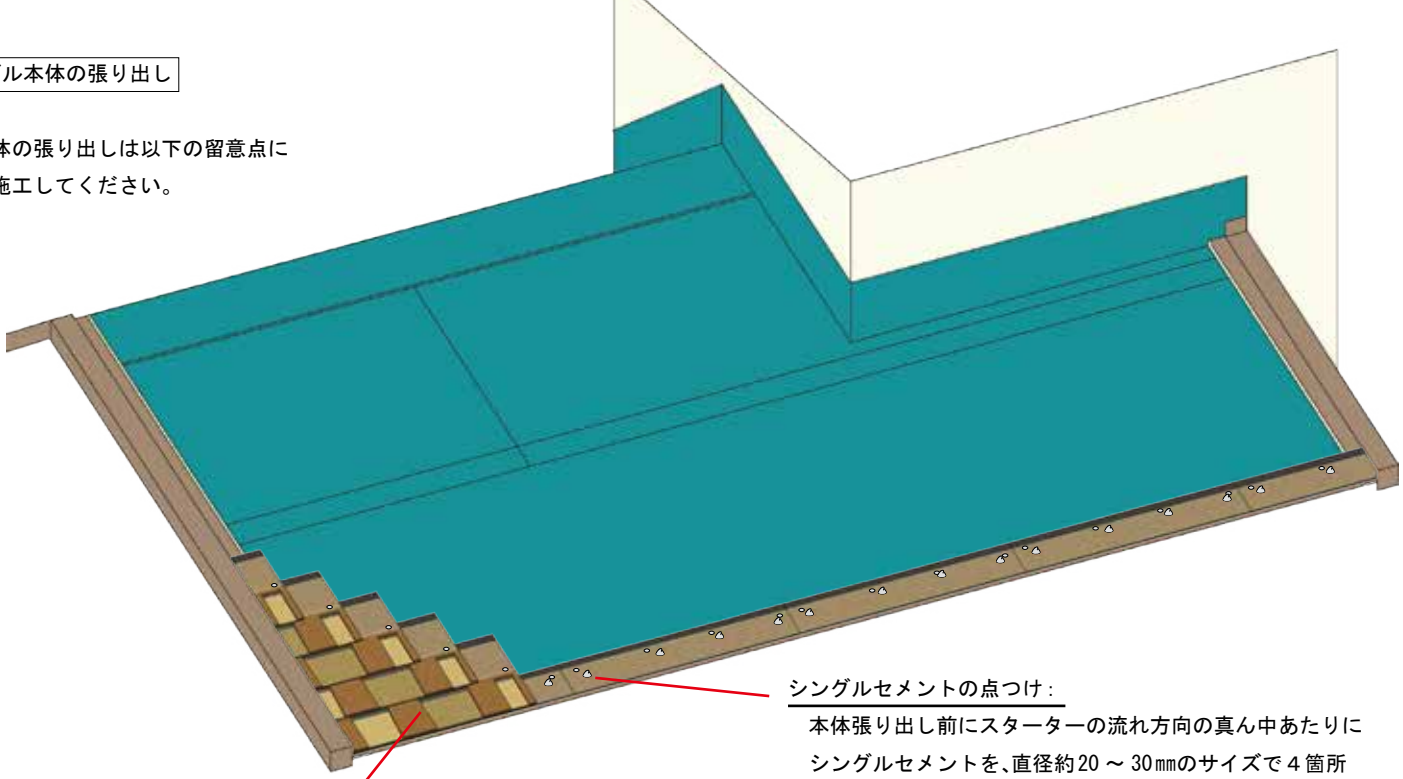
スターターを留めつける釘は
ケラバ捨板上に打たないようにしてください。

スターターは軒先唐草Ｔの
前面に合わせて施工してください。

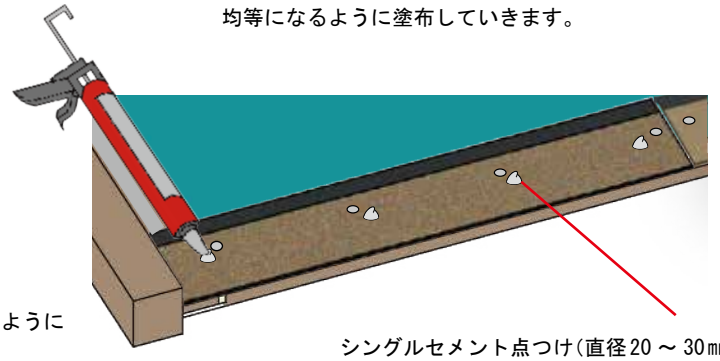


シングル本体の張り出し

シングル本体の張り出しは以下の留意点に
したがって施工してください。



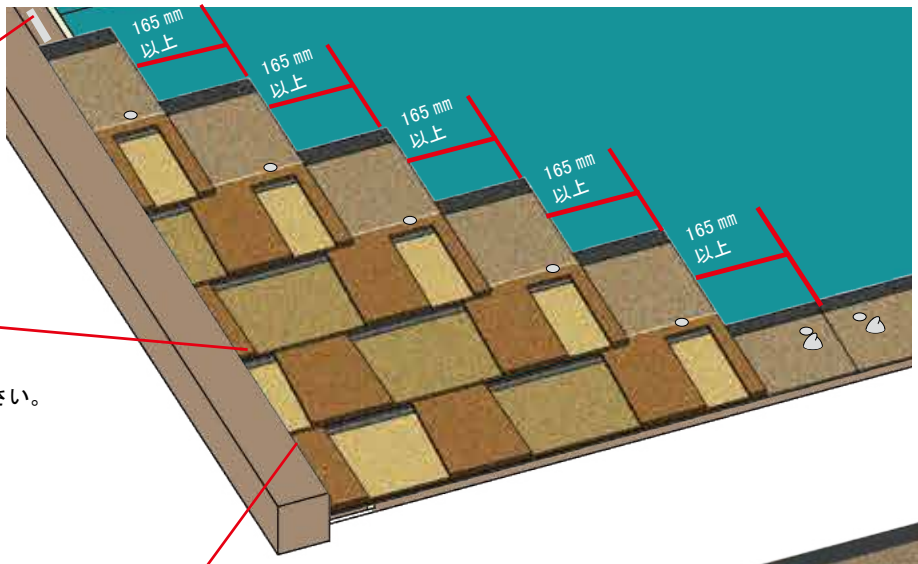
シングルセメントの点つけ：
本体張り出し前にスターターの流れ方向の真ん中あたりに
シングルセメントを、直径約20 ～ 30㎜のサイズで４箇所
均等になるように塗布していきます。



シングルセメント点つけ（直径20 ～ 30㎜）

シングル本体の張り出しの割り付け：
シングル本体の横勘合部は上下の段の横勘合から必ず165 ㎜以上離れるように
割り付けてください。（スターターとシングル本体最初の段も同じです）

シングル本体施工前にケラバ捨板上に
シングルセメントを打ち忘れないよう
にしてください。

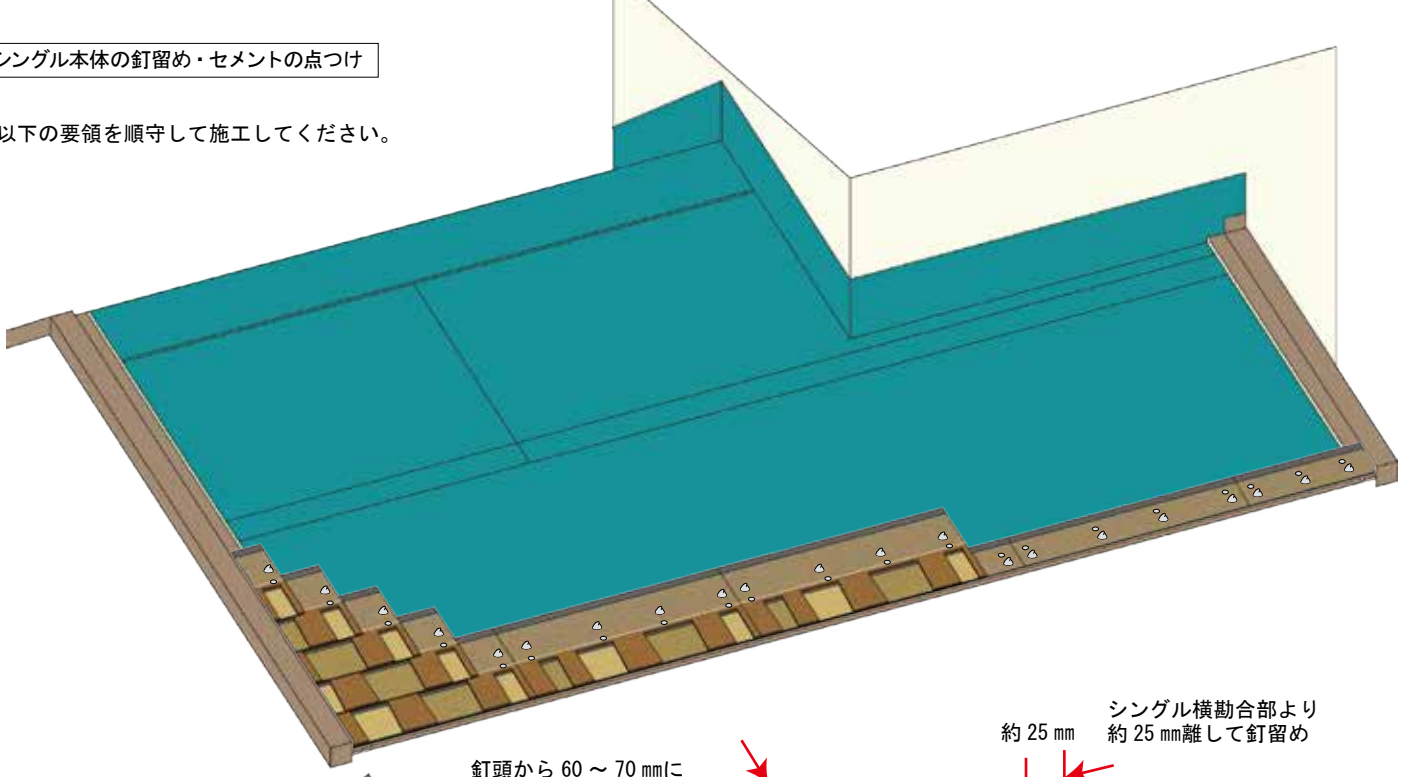


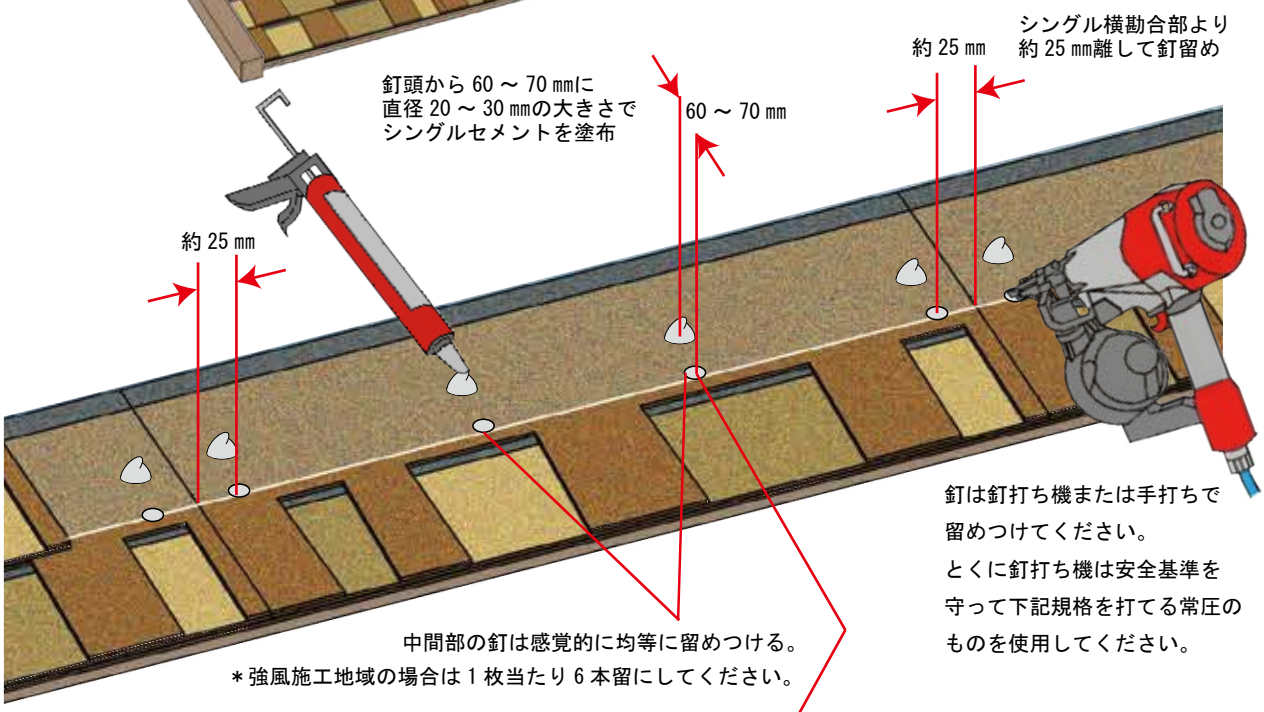
シングル本体はケラバの端部との
取り合いでケラバ捨板の立ち上がりに
当たるところでけがきカットしてください。

シングル本体のケラバ捨板との取り合い部の隅切：
ケラバ捨板と取り合うシングル本体は左図のように
上端部を隅切カットをして施工してください。

シングル本体の釘留め・セメントの点つけ

以下の要領を順守して施工してください。





釘は釘打ち機または手打ちで留めつけてください。
とくに釘打ち機は安全基準を守って下記規格を打てる常圧のものを使用してください。

中間部の釘は感覚的に均等に留めつける。
＊強風施工地域の場合は 1 枚当たり 6 本留にしてください。

シングル用釘

長さ：25 ㎜以上
頭径：8.5 ㎜～ 12 ㎜程度
胴径：3 ㎜以上
スチール電気メッキ処理品以上

使用してはいけない釘

長さが短い

釘頭が小さい

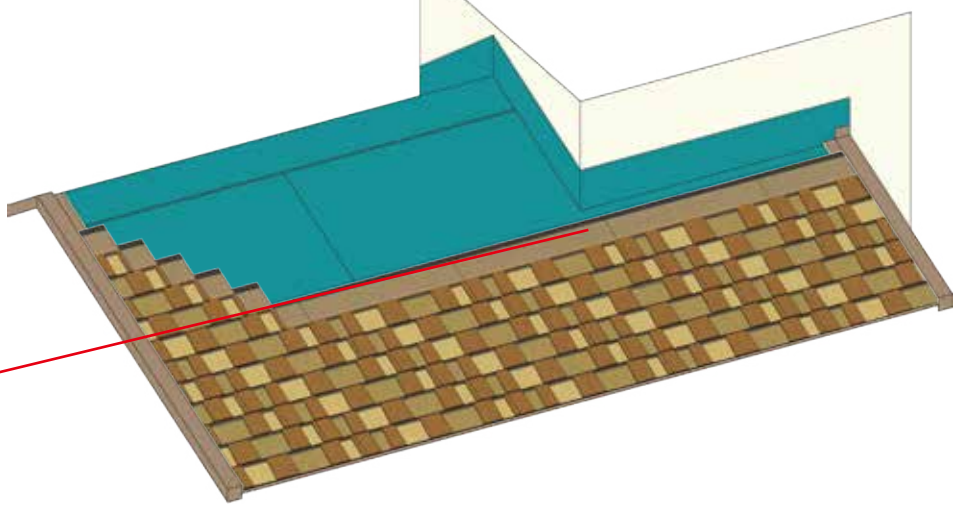
＊長さが短かったり釘頭や線形が規定より小さいと耐風性能が著しく低下する恐れがあります。
まためっき処理が規定以下または処理がされていない場合は耐久性が低下する恐れがあります。

釘打ちの位置と上下合わせの位置

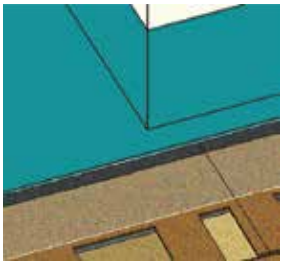
シングルの釘止めは白い釘打ちラインを中心に下は上下合わせの位置の釘頭が表に見えないところまでとし、上は下の段のシングル本体の上端部が重なり複層になっているところまでの範囲に打つようにしてください。

㊟ シングル上端部の単層部に釘で留めると耐風性能が落ちますので絶対に打たないでください。

捨板水切りの施工と出隅の取り合い施工

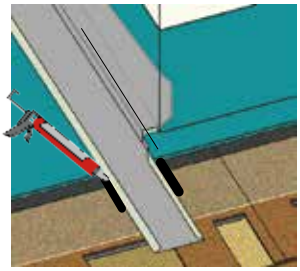


出隅の取り合施工は
以下の①～④の手順で
施工してください。

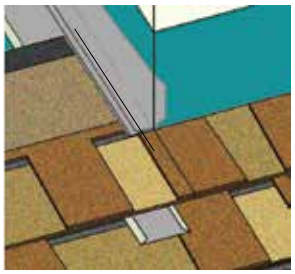


①シングル本体の水平壁の壁あたりの一段下のところまで張り上げます。

②流れ壁側に防腐処理された、18×45㎜の下地木材を取り付けます。



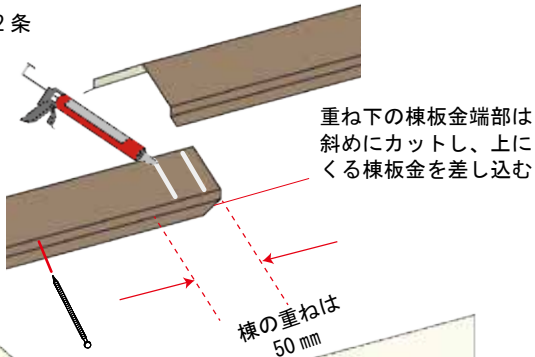
②捨板水切を上図のように加工して上下勘合部より捨て板下端部が50㎜以上下になるように取り付け、両サイドにシングルセメント1条ずつ打ち込みます。（＊上下勘合部からはみ出さないこと。）

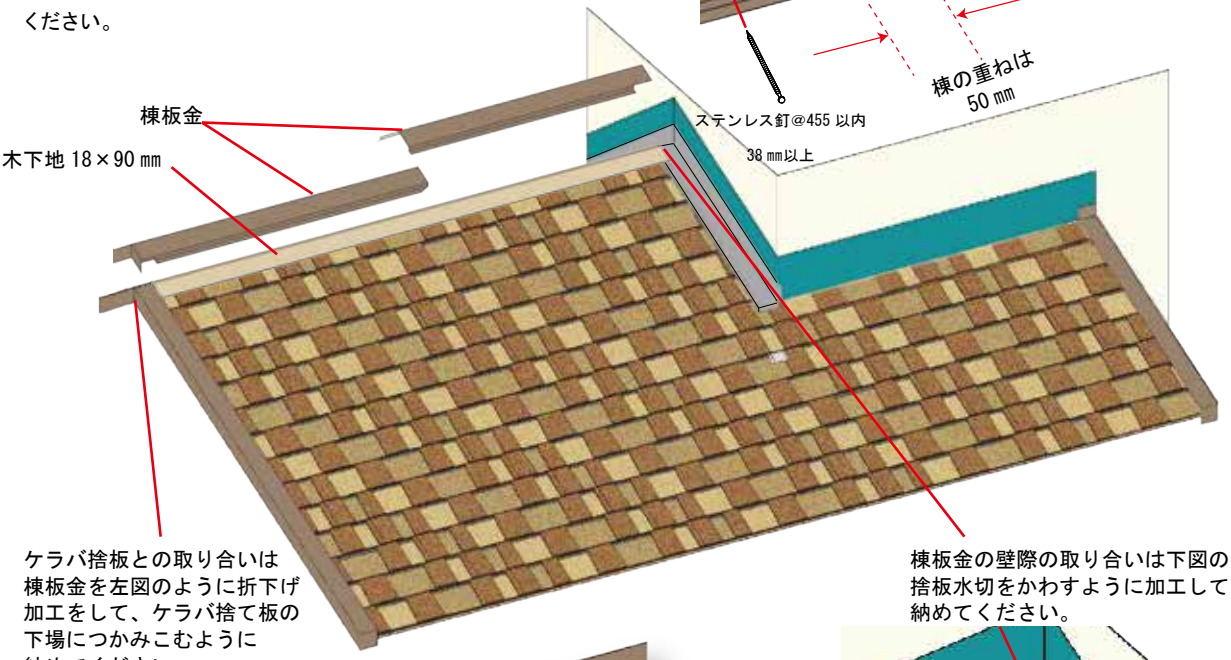


③壁際流れ捨て板の上にシングル本体を施工してください。捨板水切りとシングル本体の取り合いはシングル本体上端部をケラバ水切り取り合いと同じように隅切りをしてください。

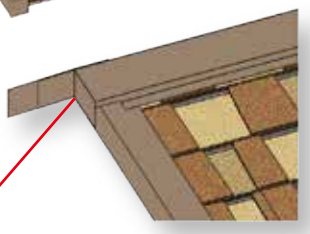
水平棟の仕上げ(板金仕様)

②防腐処理された木下地18×90㎜を棟板金の納まりにあわせて位置を決めて、垂木にビスで留めつけてください。（65㎜以上のビス）
木下地施工後、棟板金を木下地に取り付け、木下地短辺方向に効かすように38㎜以上のステンレス釘を@455㎜以内に留めつけてください。

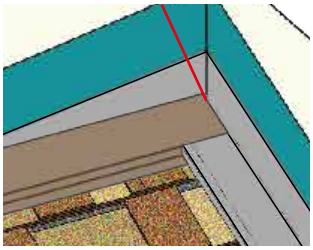




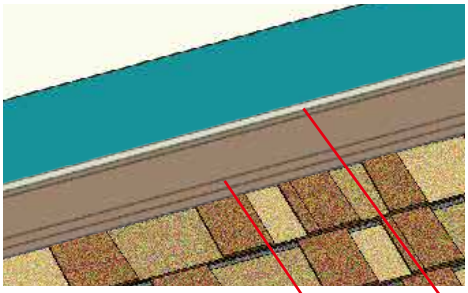
ケラバ捨板との取り合いは
棟板金を左図のように折下げ
加工をして、ケラバ捨て板の
下場につかみこむように
納めてください。



棟板金の壁際の取り合いは下図のように
捨板水切をかわすように加工して
納めてください。



＊雨押えの重ねは 50 ㎜以上とりシリコンを捨て打ちして重ねます。



壁際カバーの施工

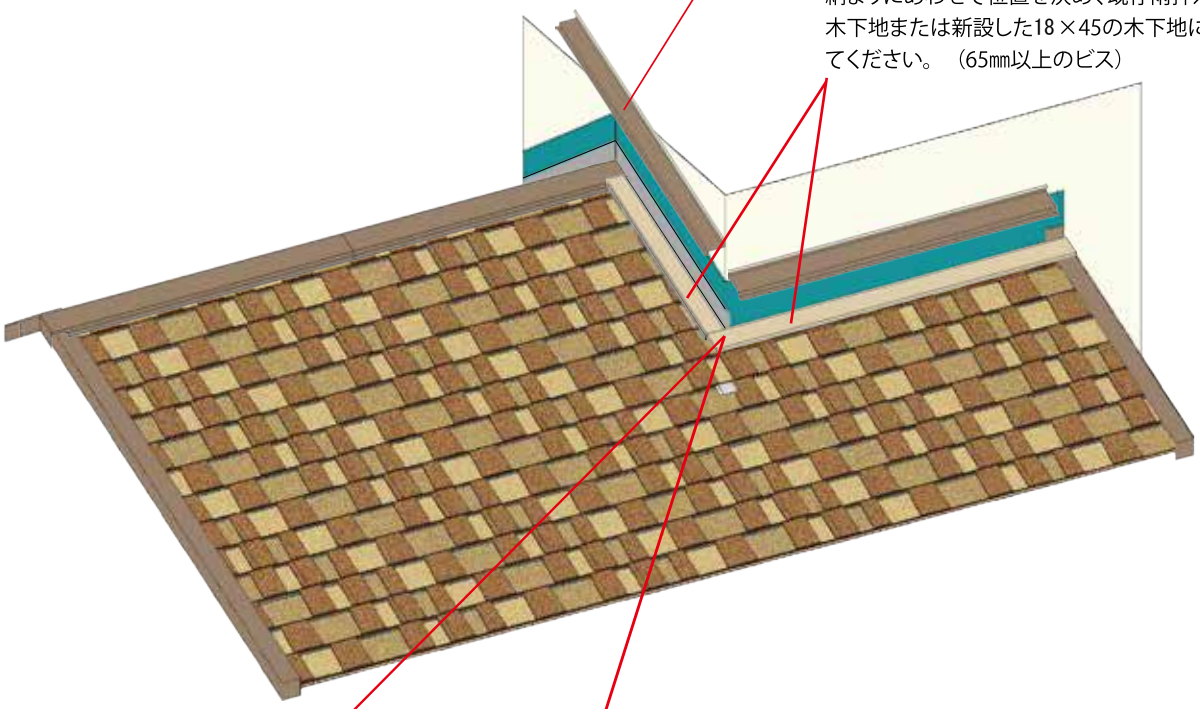
壁際カバーの施工は既存壁際が雨押え・L型捨板雨押え兼用捨て板とも以下の要領で施工します。

壁際カバーの壁側立ち上がり部は間柱にビス留めしてください。

壁際カバー前部立ち上がり部にステンレス釘@455 ㎜以内で釘留め →

壁際カバーの施工

防腐処理された木下地18×90㎜を壁際カバーの納まりにあわせて位置を決め、既存雨押えの木下地または新設した18×45の木下地に効かせてください。（65㎜以上のビス）

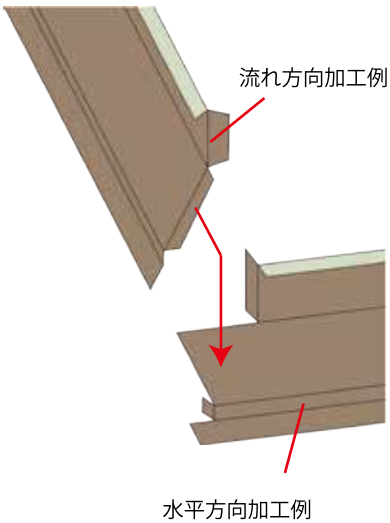


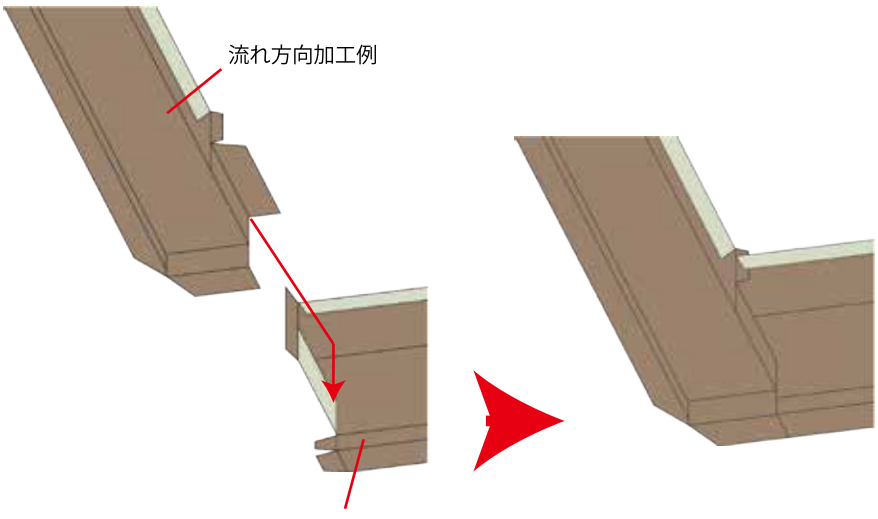
出隅部の雨押えの加工例（トメ仕上げ）

出隅部は水平方向と流れ方向の雨押えを下図のように加工し付け合せます。必ず水下から順に納めるようにすること。
勘合部はシリコンを打ってください。

出隅部の雨押えの加工例
（水平方向と流れ方向が段差がある場合）

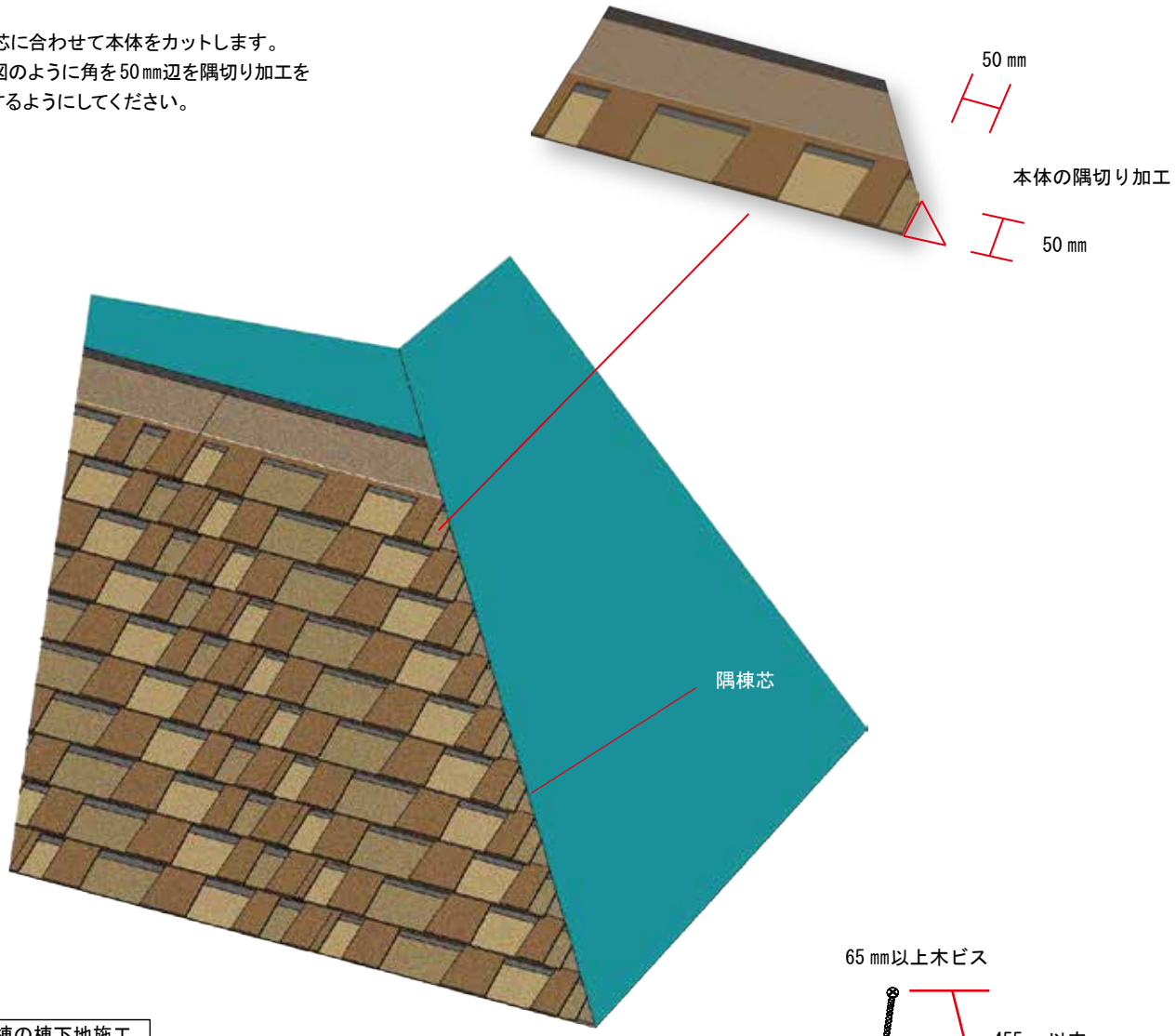
水平方向と流れの仕上げ面のレベルが異なる場合トメ仕上げができません。
この場合水平方向と流れ方向を以下の図のように加工し折りあわせて加工するようにしてください。折りあわせ部はシリコンを打ってください。





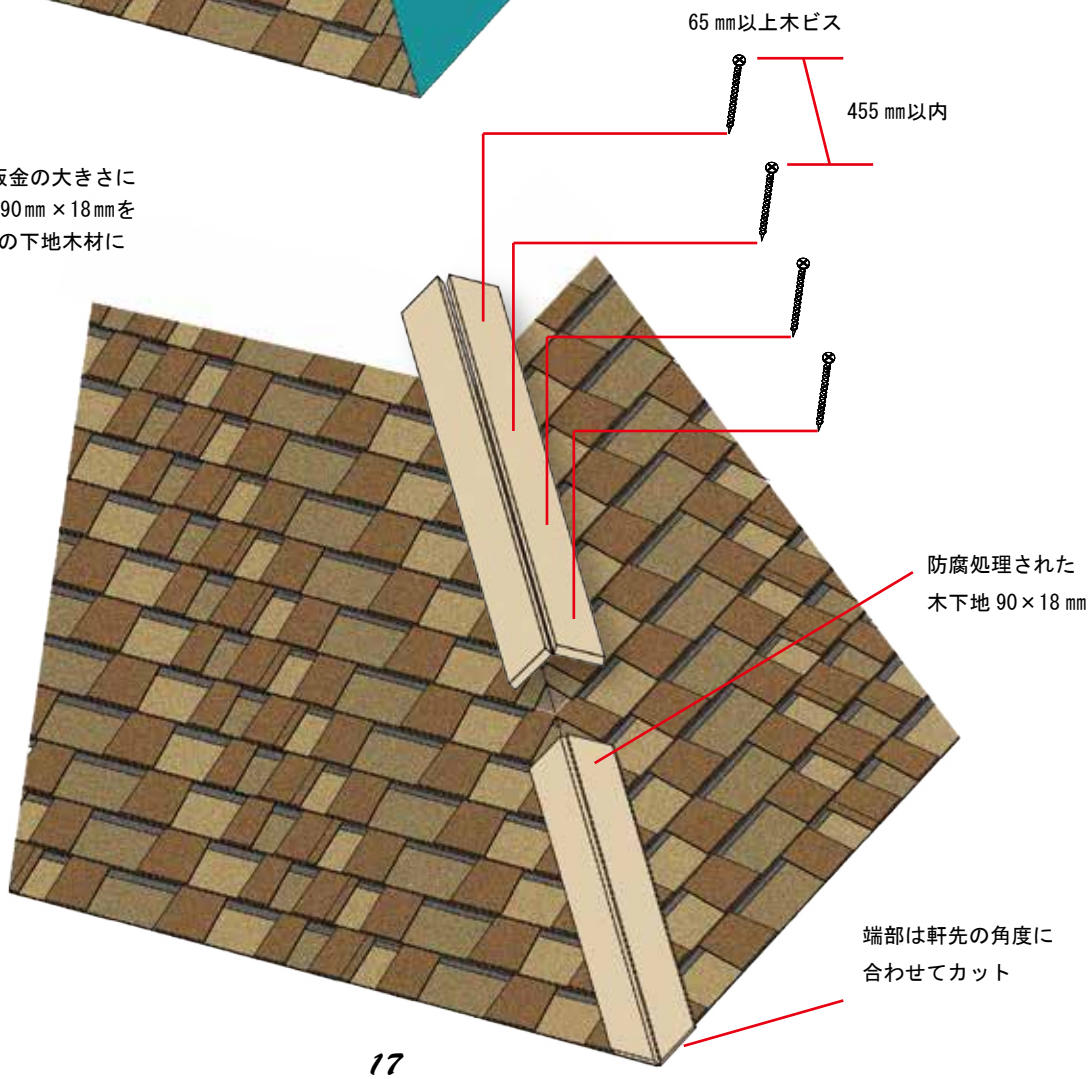
隅棟本体の施工

隅棟は隅棟芯に合わせて本体をカットします。
その際は右図のように角を50㎜辺を隅切り加工を
行って施工するようにしてください。



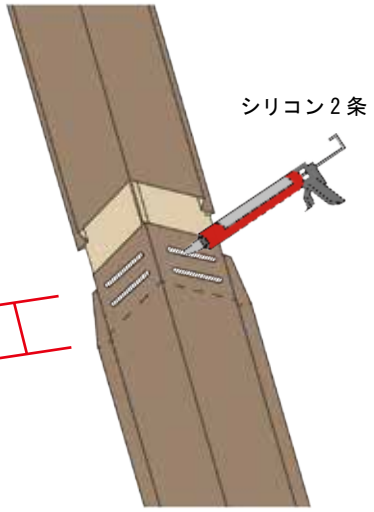
隅棟の棟下地施工

本体施工後､隅棟で使用する棟板金の大きさに
あわせて防腐処理された木下地90㎜×18㎜を
木ビス65㎜を455㎜間隔で隅棟の下地木材に
効かせるようにしてください。

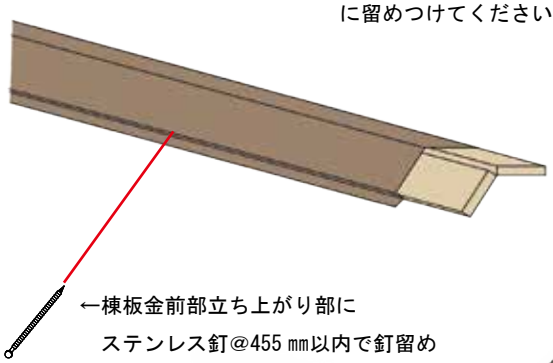


隅棟の棟板金の施工

隅棟板金を以下の要領で施工し仕上げてください。

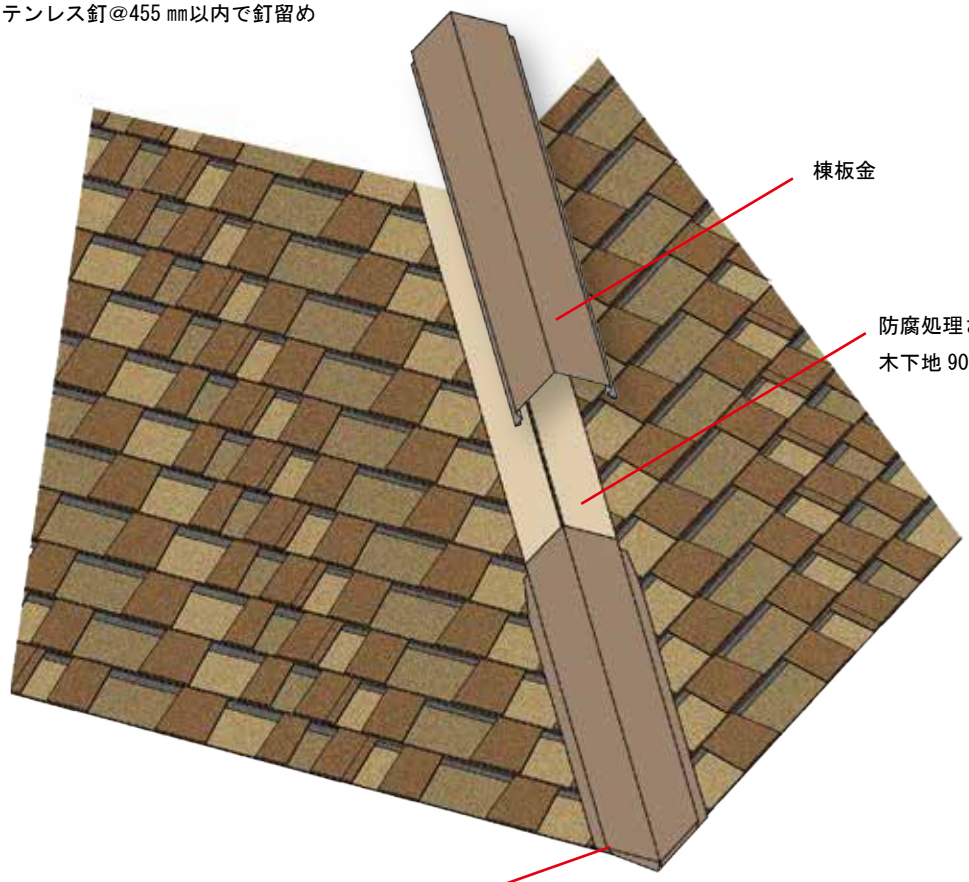


棟板金の留め付け：棟板金を木下地に取り付け、木下地短辺方向に効かすように38㎜以上のステンレス釘を@455㎜以内に留めつけてください。

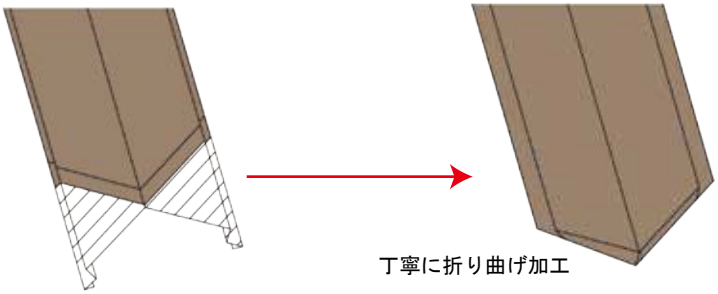


←棟板金前部立ち上がり部に
ステンレス釘@455 ㎜以内で釘留め

棟板金の勘合：隅棟の棟板金は上図の通りに重ねの下側の棟板金にシリコン2 条打った後に次の棟板金を50 ㎜重ねて施工してください。



隅棟下端部の加工：棟板金の隅棟下端部は木下地が見えないように軒先の角度に合わせて下図のように折下げ加工をしてください。（もしくは市販の加工済品）



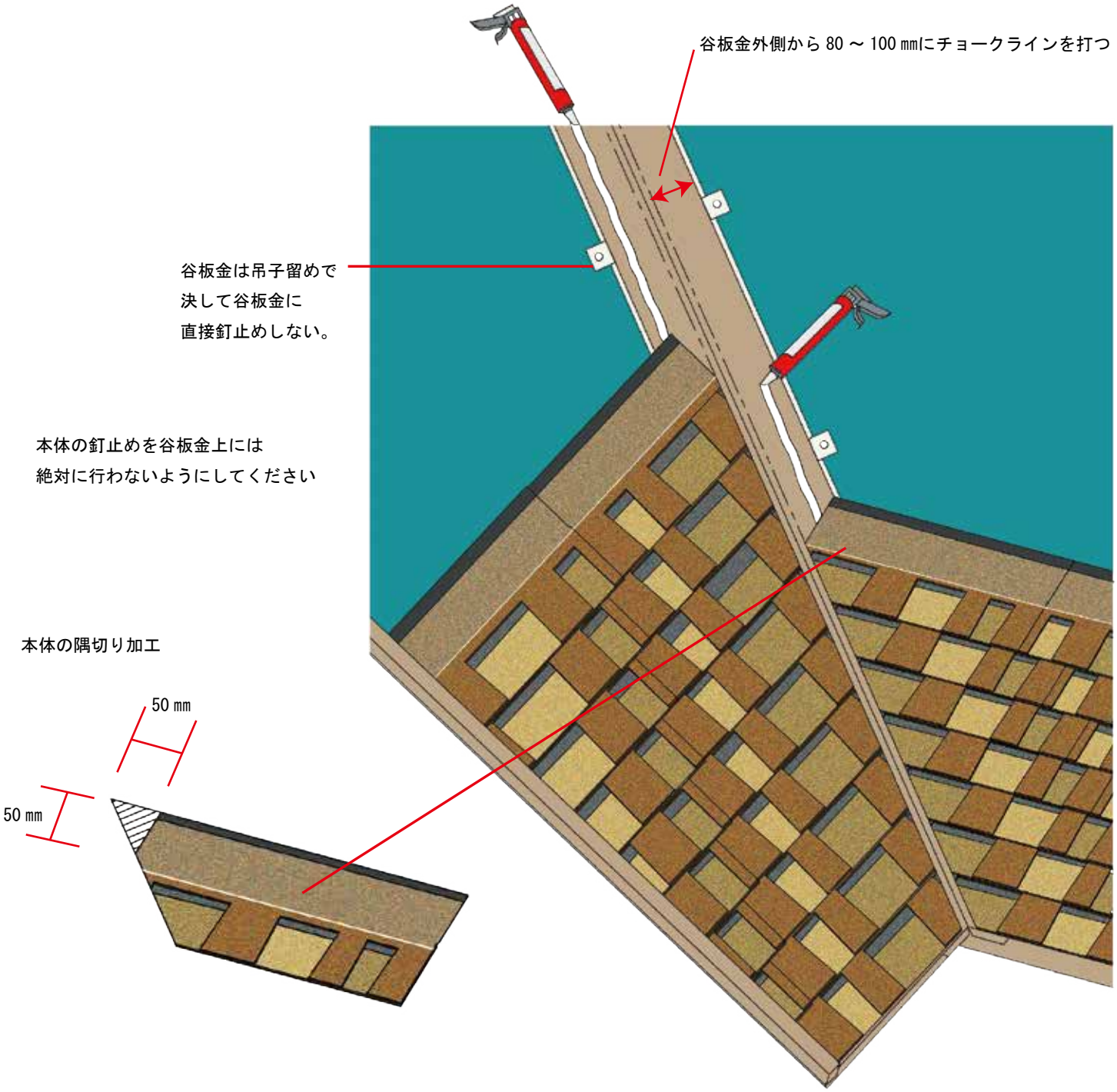
図のようにけがき
斜線部をカットする。

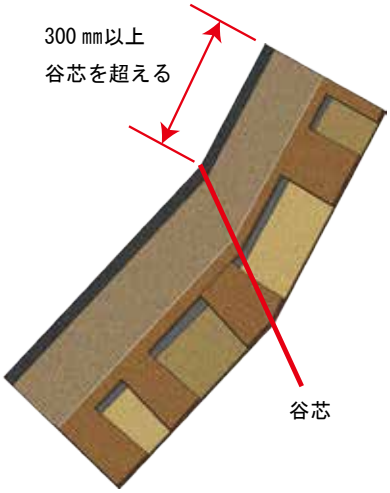
丁寧に折り曲げ加工

本谷の仕上げ（谷板金仕上げの場合）

本谷の谷芯に合わせて取り付け板金は吊子留めします。
本体の施工は下図の通り、まず谷板金外側から100 ～ 80㎜の
ラインにチョークラインを打ち、そのラインにあわせて、
本体をカットし施工していきます。谷まわりの本体は
必ず隅切り加工を行います。
本体施工前に谷板金部にシングルセメントを打ってから
施工してください。

本体施工前にシングルセメントを打ちます。

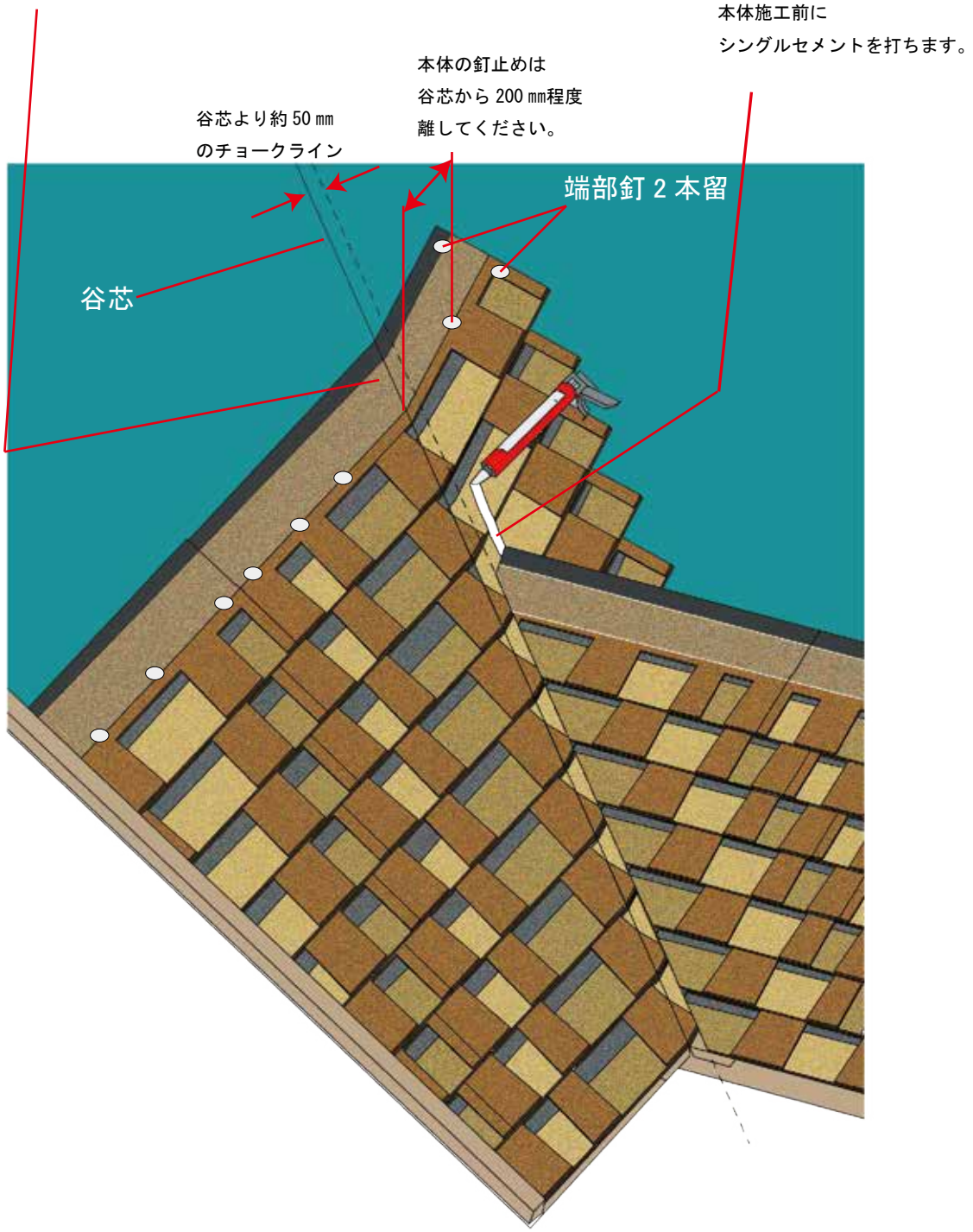




本谷の仕上げ（シングル張り上げ納まりの場合）

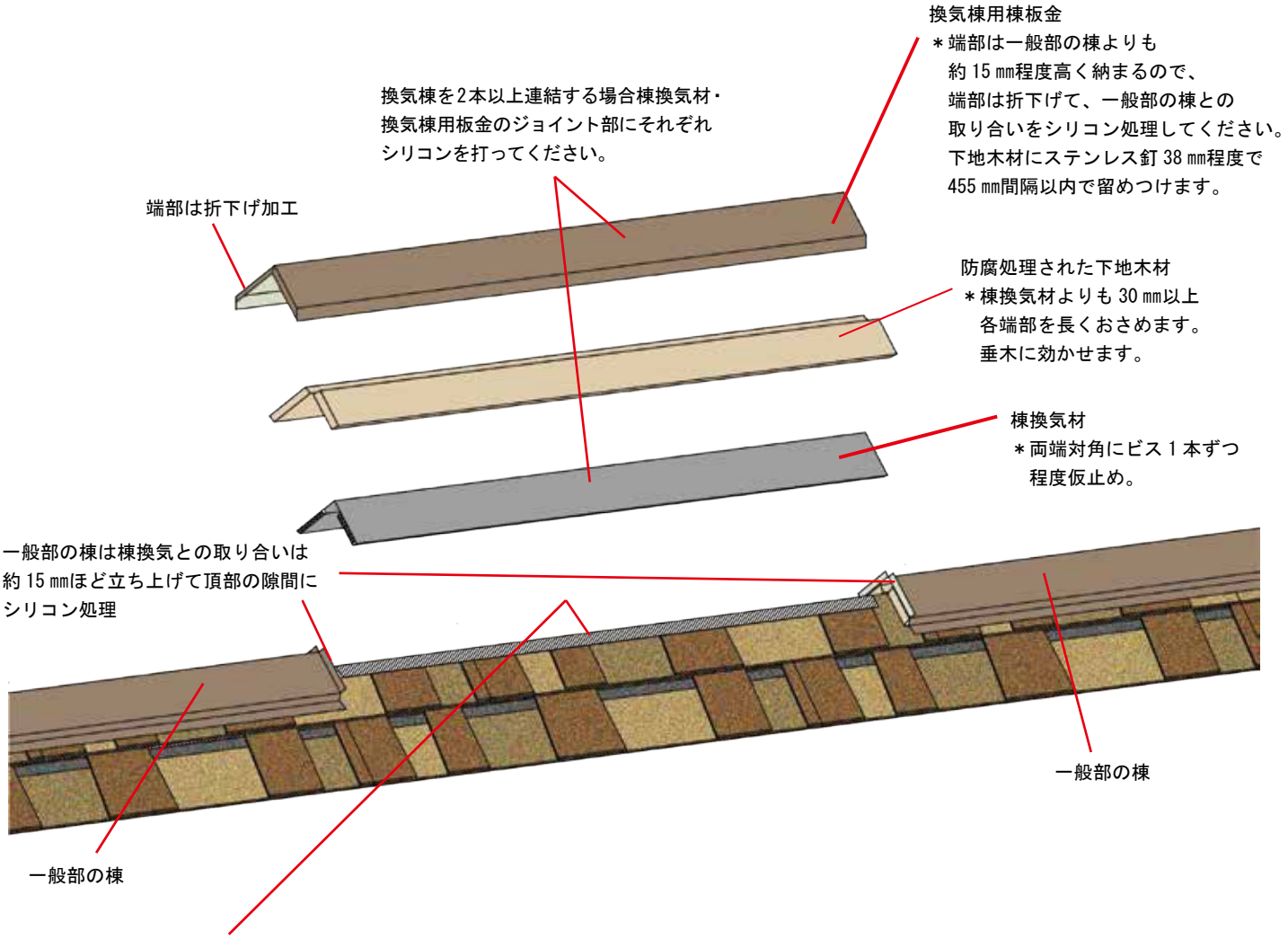
本谷をシングル材だけで仕上げる場合はまず最初に
”屋根の流れ長さの短い面”から施工するようにしてください。
（これはシングルの谷部の重ねで流れの長い面からの雨水が
流れの短い面で受けるようにするため）
下に入る本体は谷芯より300㎜以上超えるように施工し、
谷芯部から200㎜以内は釘を打たないようにしてください。
上に来る本体は谷芯より約50㎜上がったところにチョークラインを
打ちそのラインに合わせて本体をカットして施工してください。

下に入る本体は流れ長さが短い面が下に入るように
施工してください。下に入る本体は谷芯よりも 300 ㎜以上
伸ばして施工します。

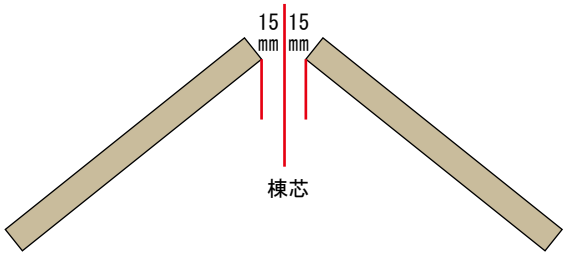


本谷の下地防水紙の施工

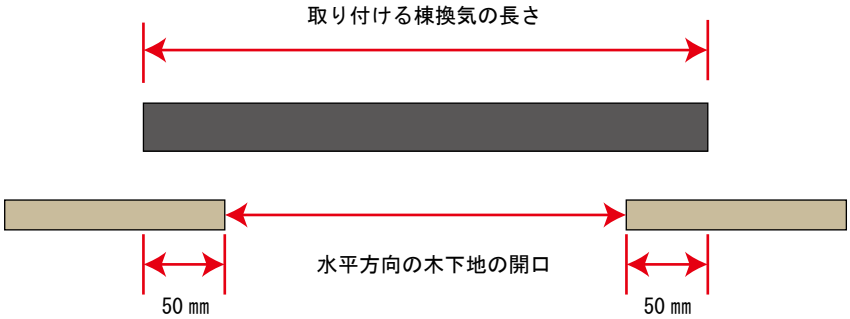
換気棟の施工は最初に下地屋根合板に開口を開けます。
そのあとに通常の一般部の棟を仕上げた後に　換気棟部材を仮止めし防腐処理された
下地木材を取り付け、最後に換気棟用棟板金と取り付けて仕上げていきます。
下図の要領にそって取り付けていってください。



換気棟の棟下地の開口：棟換気の取り付けは必ず該当箇所を以下の要領で木下地を開口してから取り付けてください。

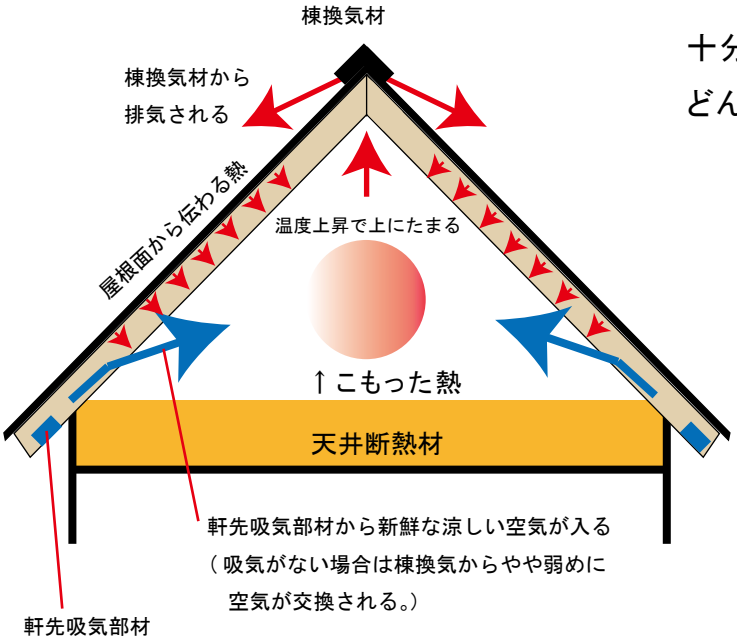


断面方向は棟芯から 15 ㎜ずつ開口してください。



水平方向の木下地の開口は取り付ける換気棟の
端部よりそれぞれ 50 ㎜以上短くなるように
木下地の開口を開けるようにしてください。

棟換気



＊天井断熱は上質で厚めのものを使わないと
冬場の露点が天井になってしまう可能性がある。

十分な天井断熱と棟換気を設置すれば、どんな屋根材でも夏涼しく冬の結露も解消！

屋根から受けた熱は屋根材から野地板・構造用合板を通過して、屋根裏の気温をドンドン上昇させます。　また室内からの炊事・お風呂・人間の呼気などから発生する水蒸気も屋根裏に集まり、野地板や構造用合板に必要以上の湿気を与えて劣化させていきます。棟換気はこれら屋根裏の上昇した気温や水蒸気を棟から排気させる機能です。図は夏場の気温・水蒸気上昇を排気する図ですが、冬場はこれが結露の温床になることを防ぎます（屋根裏を外気に近い気温にすることによって結露を防ぐ。）
暖かい空気は高いところに集まるので頂点から一気に排気させることは効果的です。
また外気が寒いときは棟や軒先の吸気から冷気が入り込んで外気と同化させようと機能します。建物を健康的に長期にわたり維持する為に、棟換気はなくてはならない重要な機能です。

各仕様の温度シュミレーション（単位すべて℃）

各屋根材屋根の表面温度

日本瓦（桟葺き）　73.3
平板スレート　73.2
アスファルトシングル　73.2
金属屋根　73.1

棟換気なしの各屋根材の屋根裏の温度

日本瓦（桟葺き）　55.3
平板スレート　58.2
アスファルトシングル　58
金属屋根　58.5

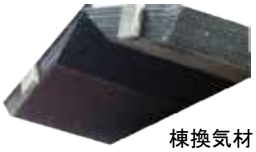
棟換気だけ入れた各屋根材の屋根裏の温度

日本瓦（桟葺き）　46.0
平板スレート 48.9
アスファルトシングル　48.7
金属屋根　49.3

スガモレ：寒冷地では屋根裏に熱がこもると屋根の雪が解け軒先で冷やされ写真のように氷のダムができて雨漏れの原因になる。

軒先吸気材

↑ポリプロピレン製の換気材↓



棟換気材

棟換気と軒先吸気口を入れた各屋根材の屋根裏の温度　天井面積の 1/1600（住宅金融支援機構仕様）

日本瓦（桟葺き）　43.8
平板スレート 45.6
アスファルトシングル　45.4
金属屋根　45.9

棟換気と軒先吸気口を入れた各屋根材の屋根裏の温度　天井面積の 1/1600 の３倍弱（棟換気 3 本、軒先吸気 6 本）

日本瓦（桟葺き）　38.8
平板スレート 40.1
アスファルトシングル　40.0
金属屋根　40.3

外気温 33 度風速 1m：建坪 81 ㎡：屋根面積 100 ㎡：単純切妻：棟長さ 10m：北方型住宅の熱環境計画　2005 の熱損失計算でシュミレーション。（すべて参考値であり保証値ではありません）

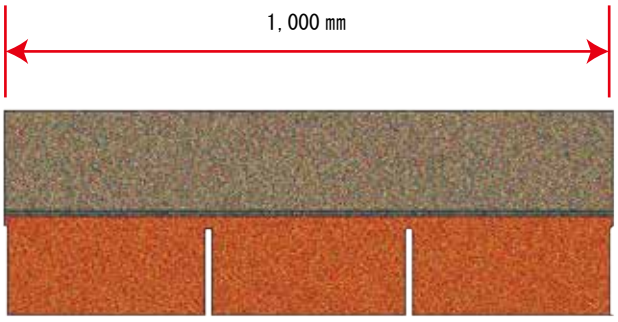
同質棟　ヒップ＆リッジの加工

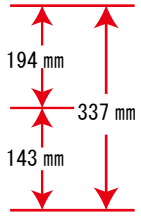
棟や隅棟を同質材で納めることによってオークリッジスーパー本来の格調高い重厚感を引き立てるための部材です。
（英語の屋根用語でヒップ(HIP)は隅棟・リッジ(RIDGE)は水平棟という意味　つまり隅棟と棟の部材という意味です。）
ヒップ＆リッジは以下の要領で加工してください。

●以下の 2 種類を屋根材の色によって選択します。

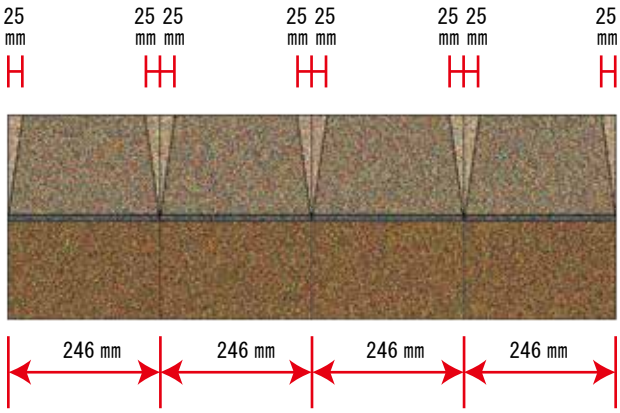
通常の同質棟材（ヒップ＆リッジ）

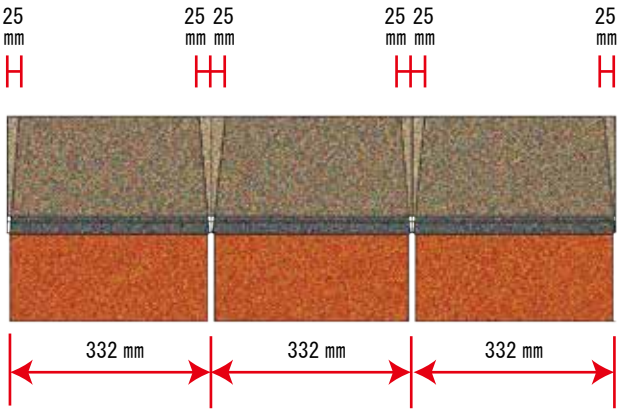
ハーバーブルー・テラコッタブレンド
使用時の同質棟材（同系色のクラシック）



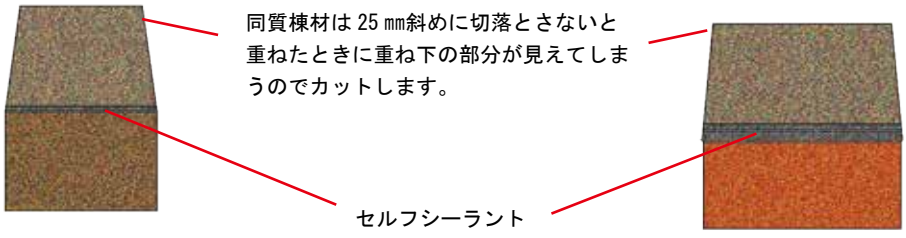


●同質棟材を以下の要領でけがきます。（通常の同質材はカットラインがあります。）

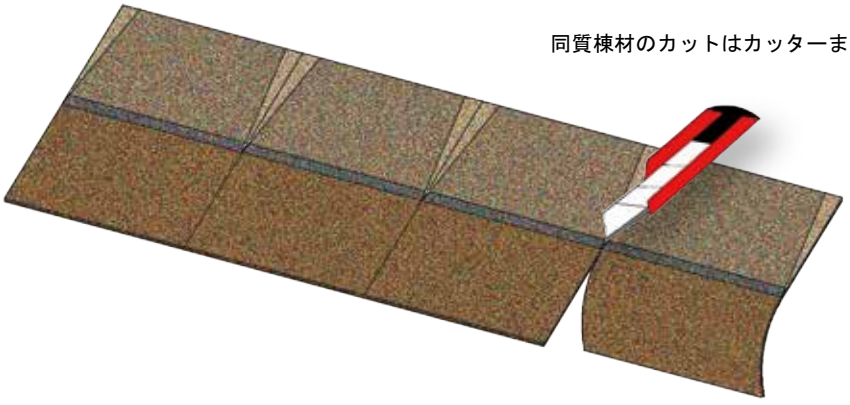




●けがいた同質棟材をカッターや鋏でカットして完成です。



同質棟材のカットはカッターまたは鋏でカットしてください。



同質棟　ヒップ＆リッジの加工

以下の要領で施工していきます。

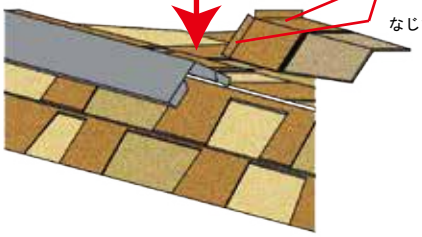
●棟と同質棟との取り合い

換気棟側の同質棟は右図のように 30 ㎜切り込みを入れて軽く曲げた後、換気棟より約 45 ㎜程度出して一般部の棟となじむように取り付けシングルセメントにしっかり接着させて納めます。

約 30 ㎜棟芯に合わせて鋏でカットして図のように軽く折下げてください。

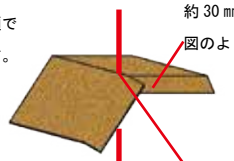
シングルセメントを塗布

換気棟に立ち上げるようになじませる。



●三つ又の施工

右図の要領で施工します。

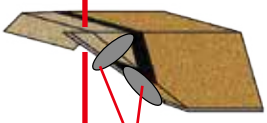


約 30 ㎜棟芯に合わせて鋏でカットして図のように軽く折下げてください。

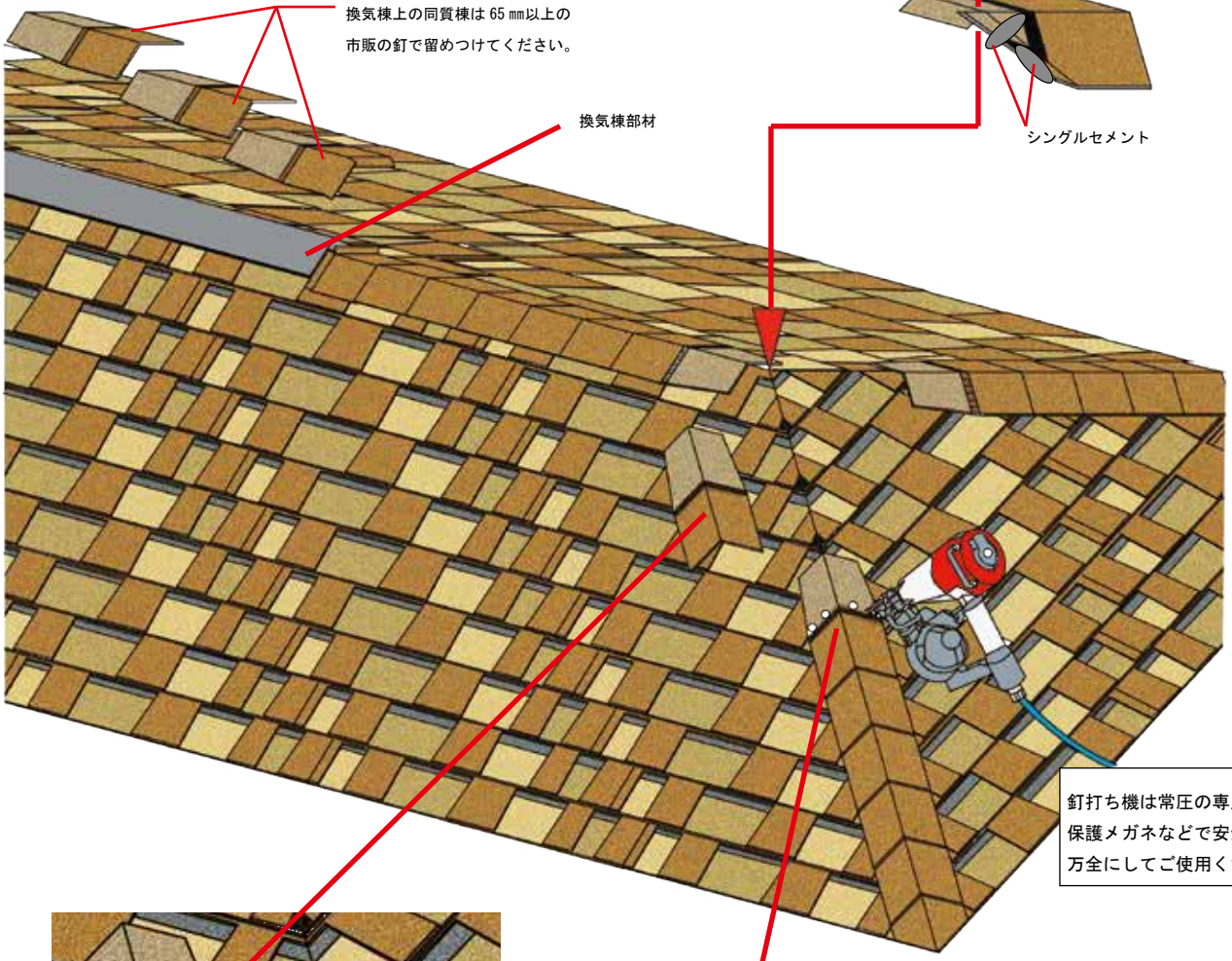
三つ又の芯よりも 10 ㎜ほど外へ納まる。

シングルセメント

シングルセメント



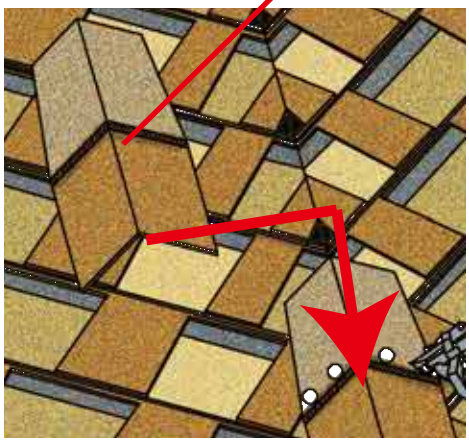
シングルセメント



換気棟上の同質棟は 65 ㎜以上の市販の釘で留めつけてください。

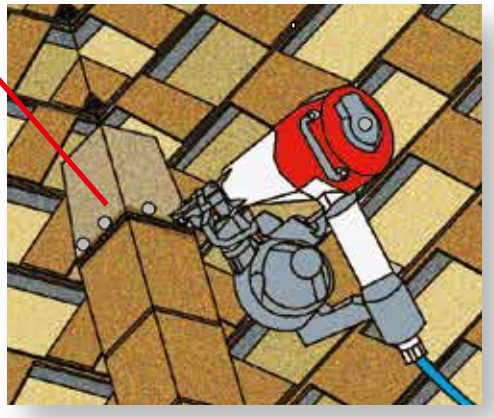
換気棟部材

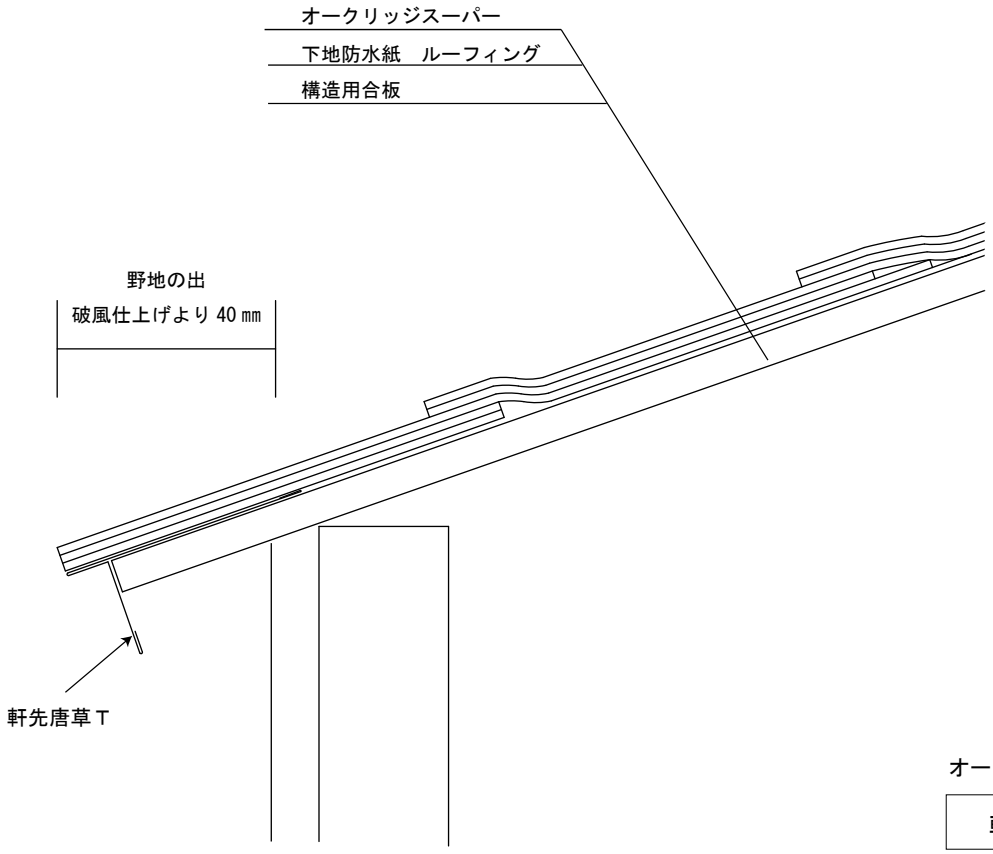
釘打ち機は常圧の専用機で保護メガネなどで安全対策を万全にしてご使用ください。



同質棟の重ねはセルフシーラントより 10 ㎜ほど前に上に重なる同質棟前端部を合わせて重ねます。

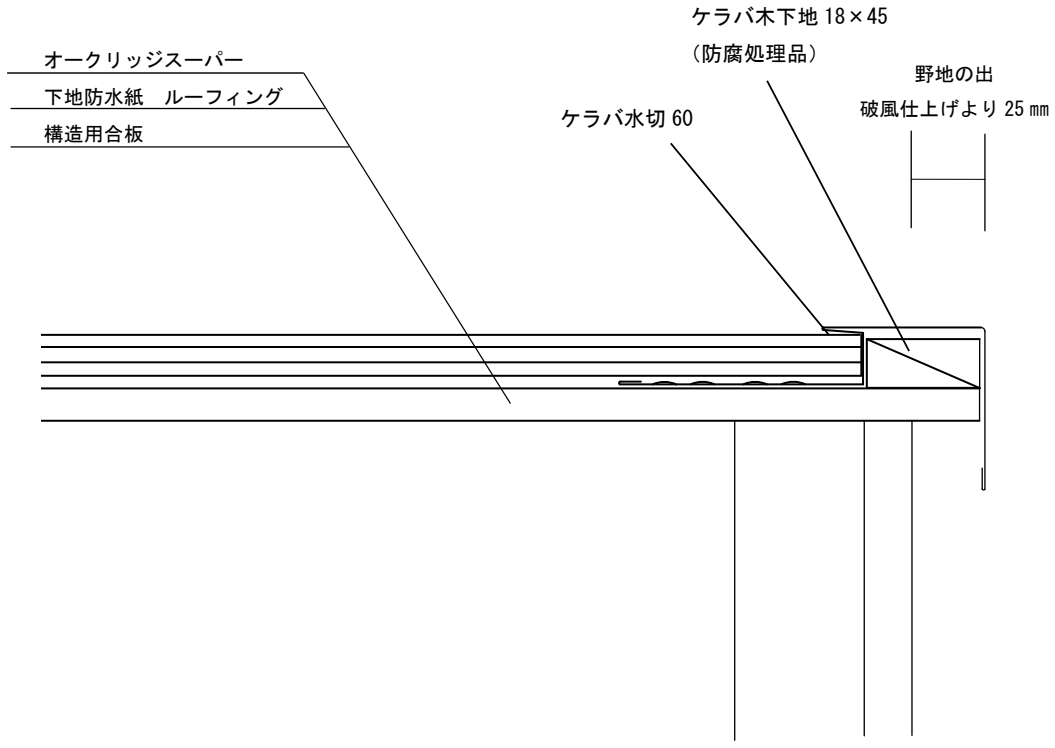
同質棟は図のようにシングル本体に留めつける釘で 4 本留めつけてください。





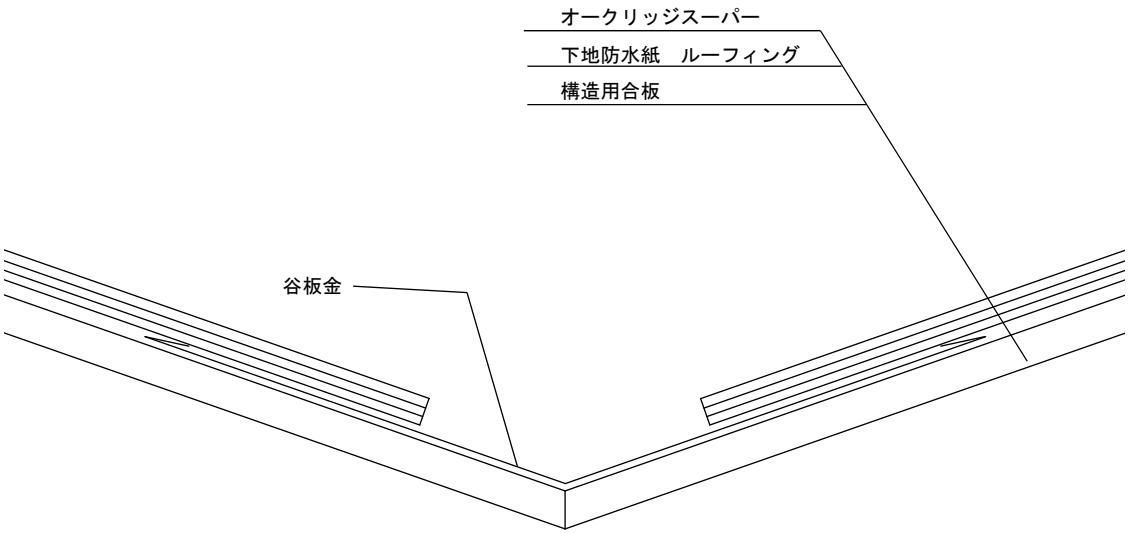
オークリッジスーパー

軒先の納まり



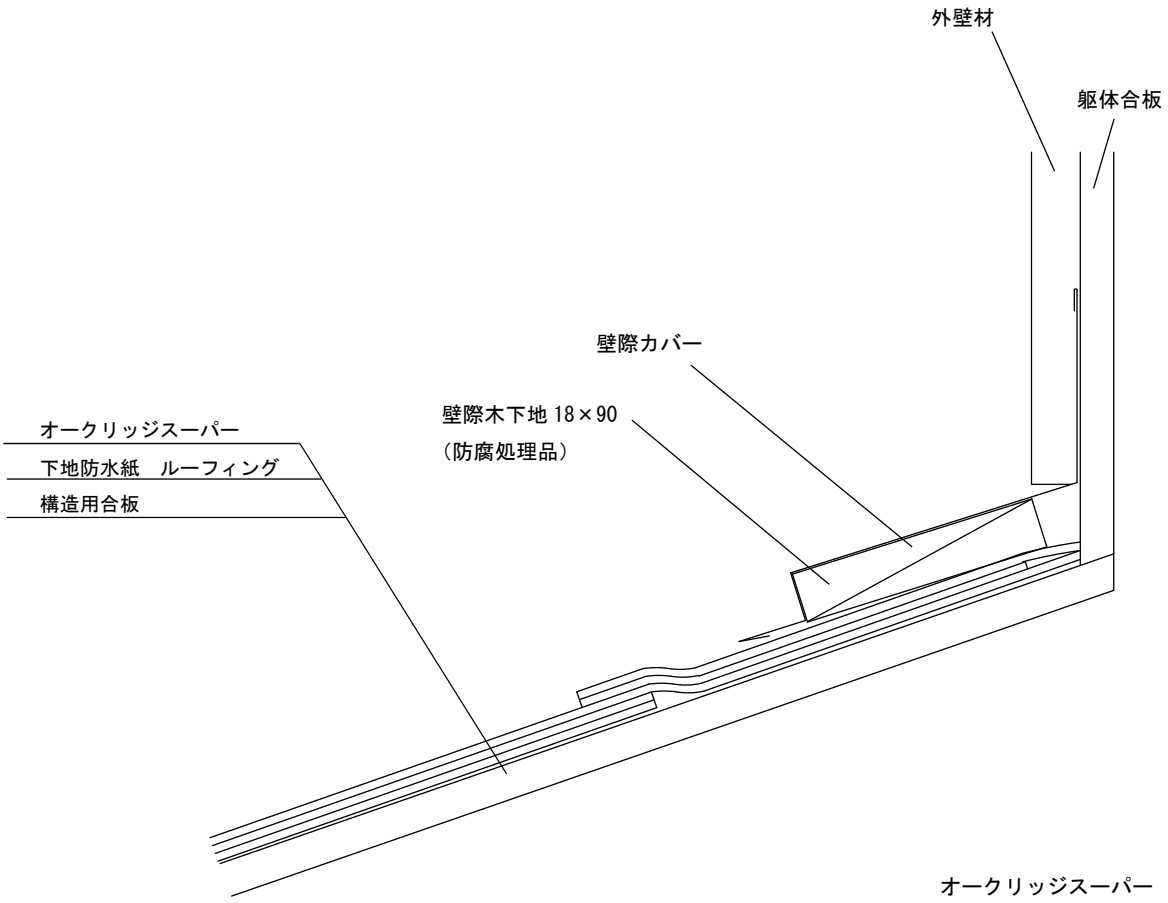
オークリッジスーパー

ケラバの納まり



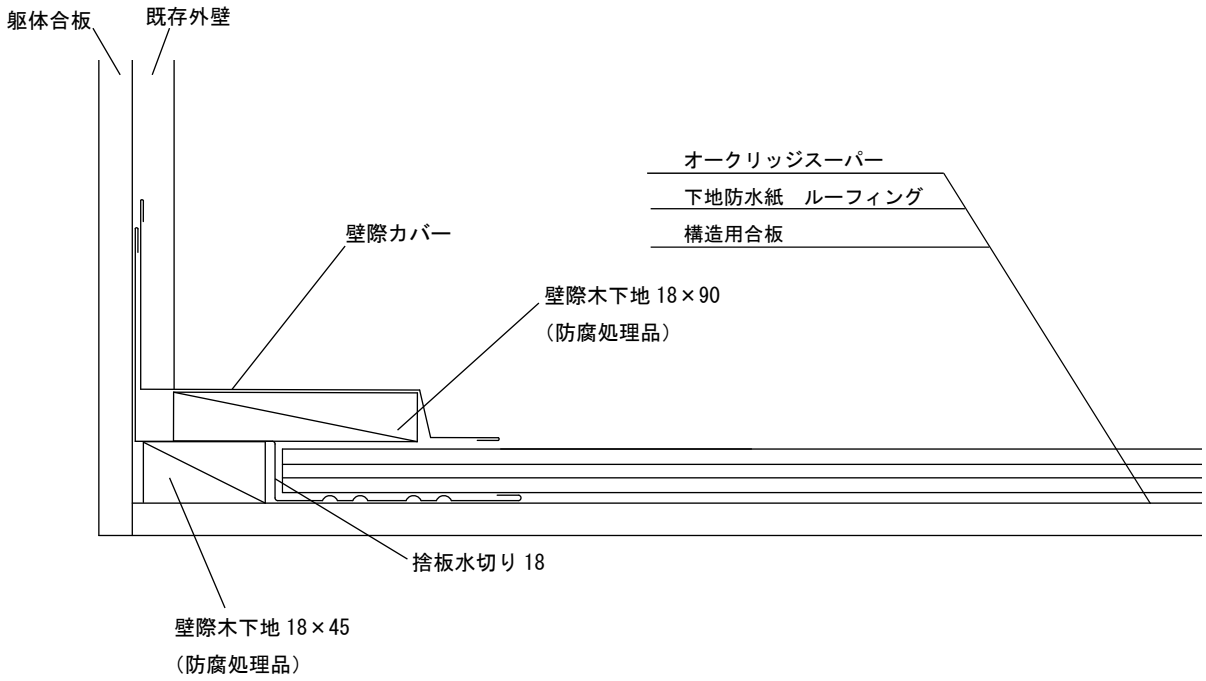
オークリッジスーパー

本谷の納まり



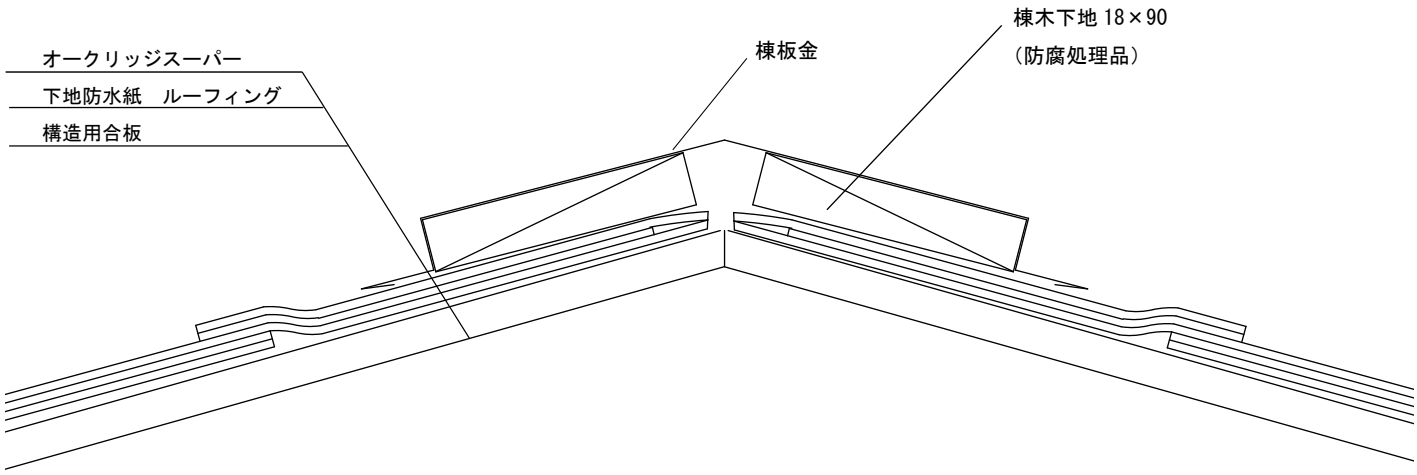
オークリッジスーパー

壁際水平部の納まり



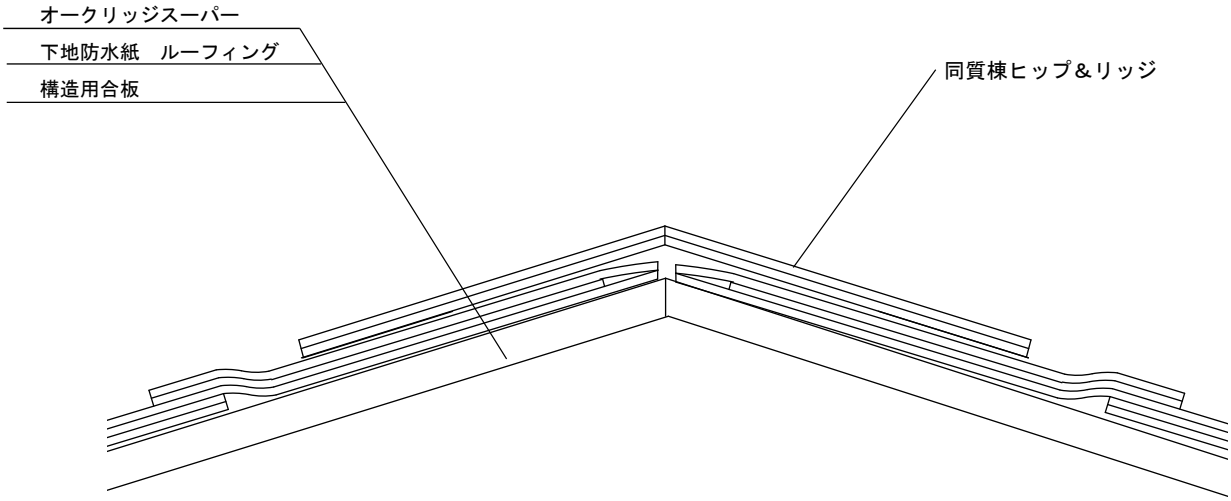
オークリッジスーパー

壁際水平部の納まり



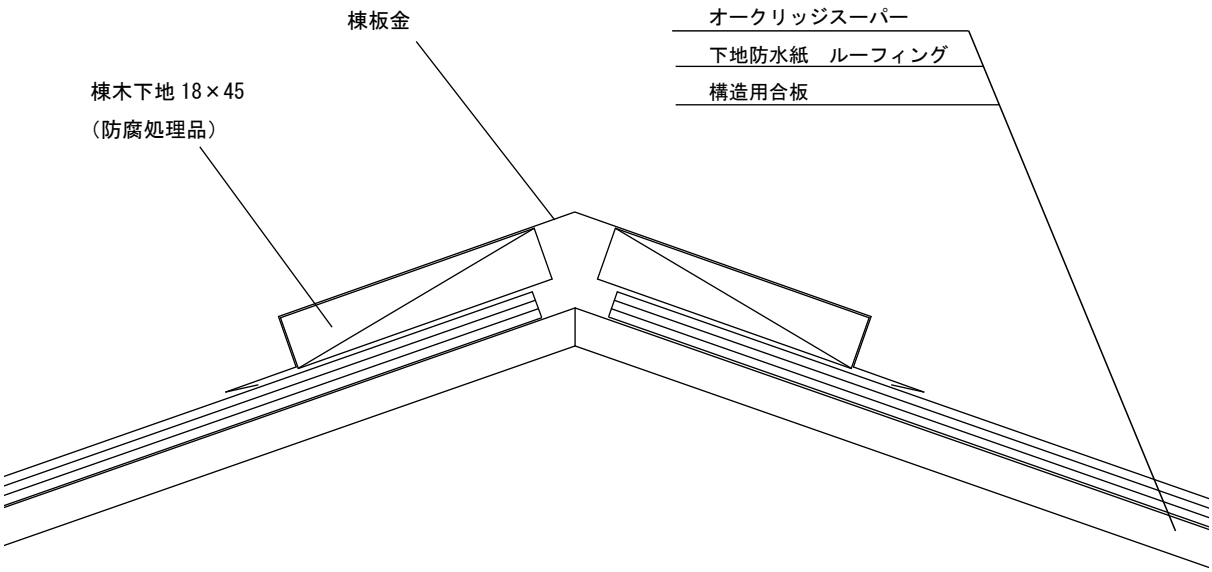
オークリッジスーパー

水平棟（板金仕上がり）の納まり



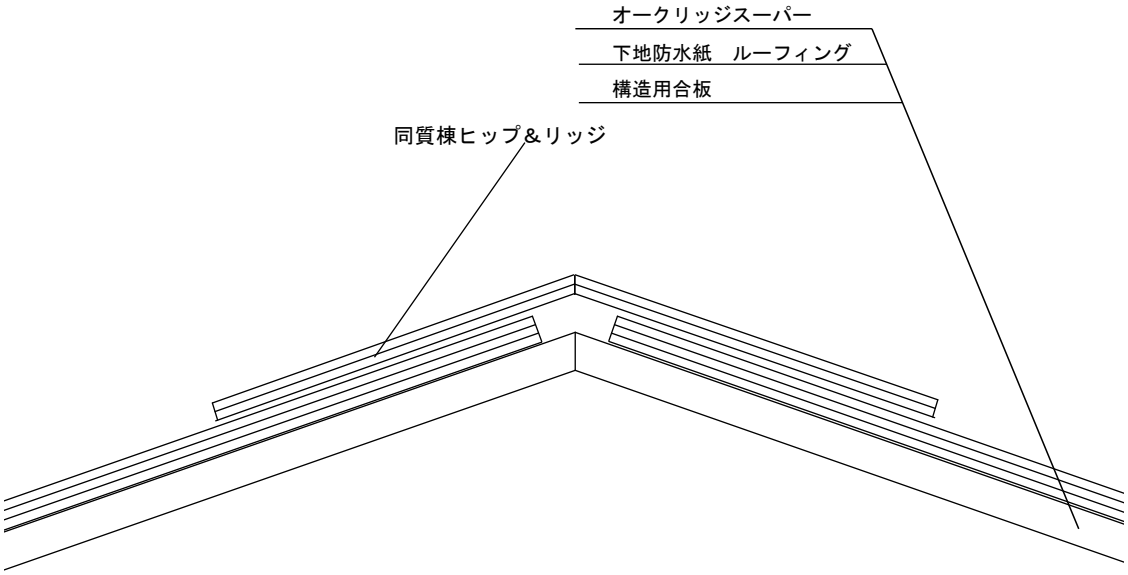
オークリッジスーパー

水平棟（同質仕上がり）の納まり



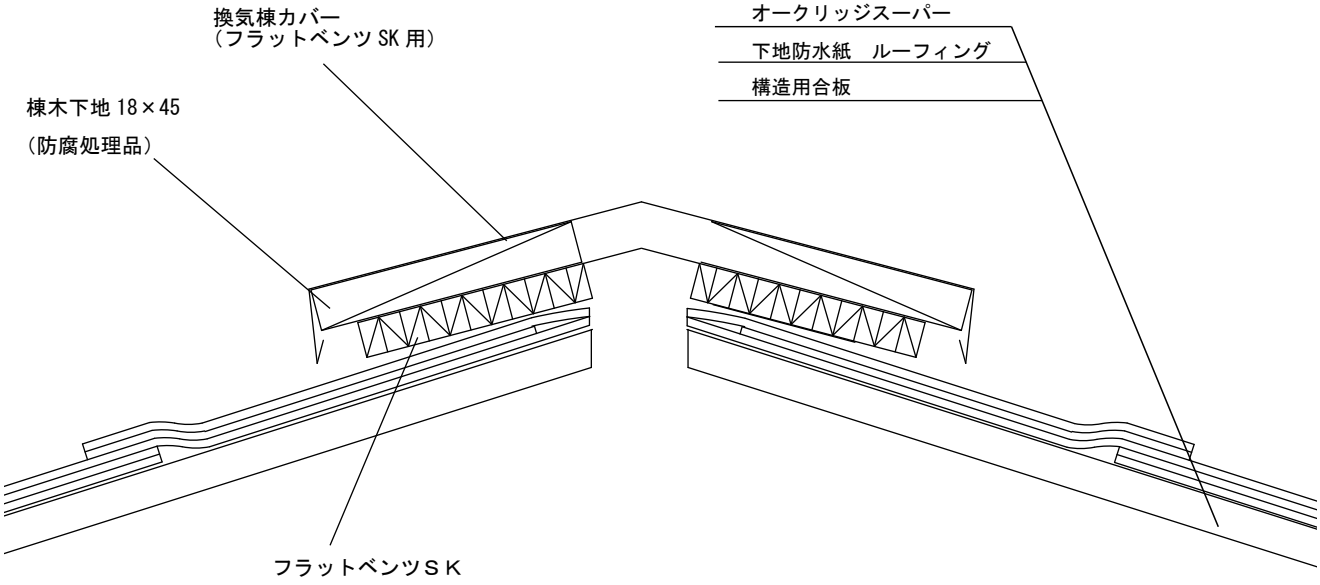
オークリッジスーパー

隅棟（板金仕上がり）の納まり



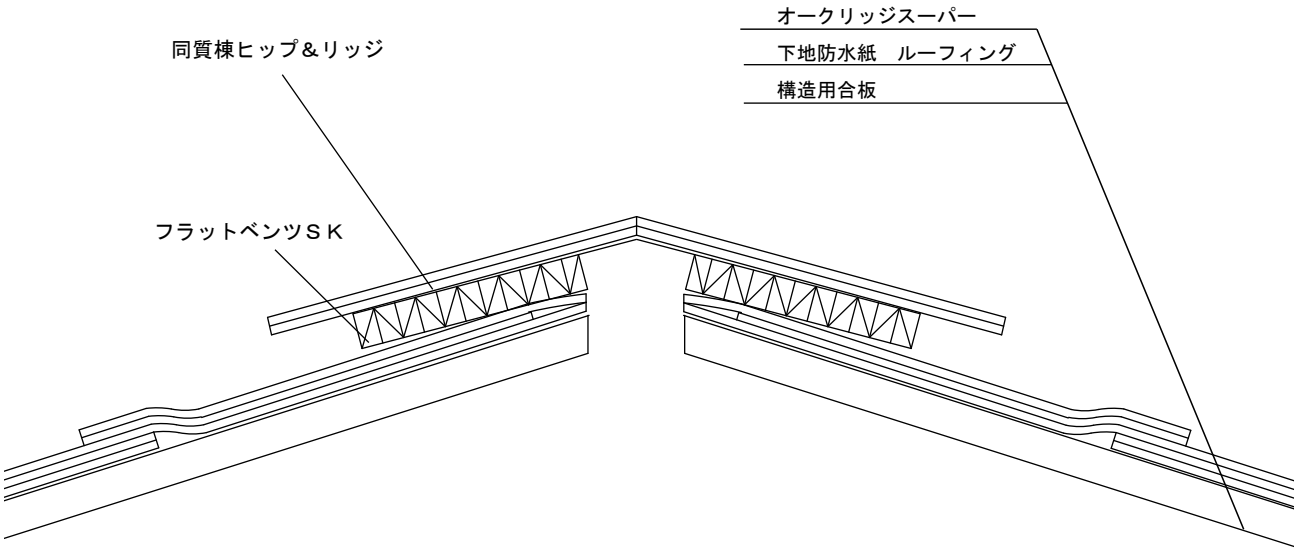
オークリッジスーパー

隅棟（同質仕上がり）の納まり



オークリッジスーパー

換気棟（板金仕上がり）の納まり



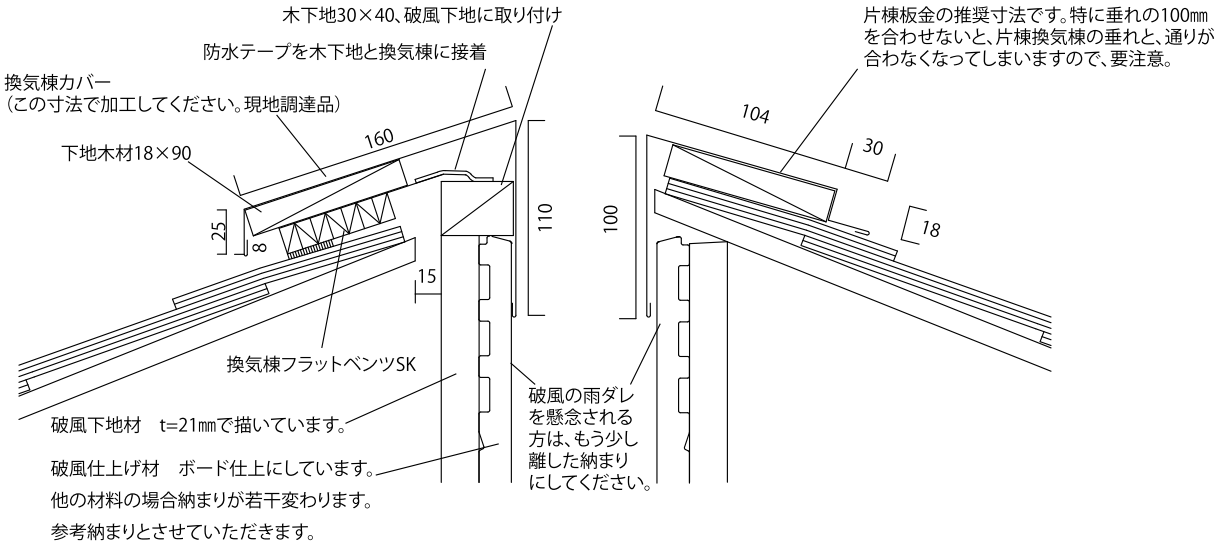
オークリッジスーパー

換気棟（同質仕上がり）の納まり

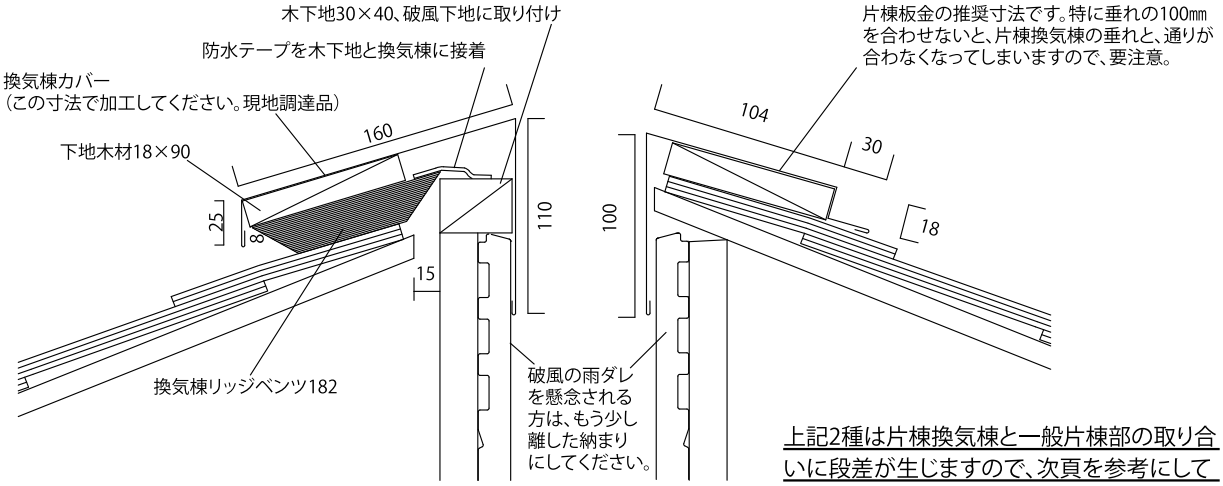
片棟換気の納まり3例

片棟換気棟の代表的な納まりと、取り合う片棟の納まりです。

全地域対応　片棟換気棟　　フラットベンツＳＫ　の納まり

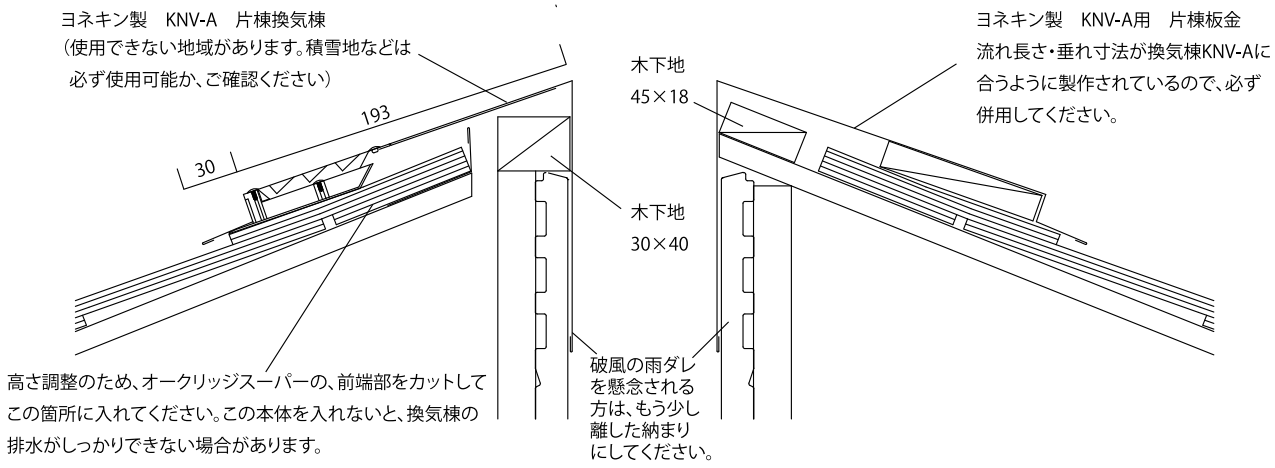


全地域対応　片棟換気棟　　リッジベンツ182　の納まり



<u>上記2種は片棟換気棟と一般片棟部の取り合いに段差が生じますので、次頁を参考にして施工してください。</u>

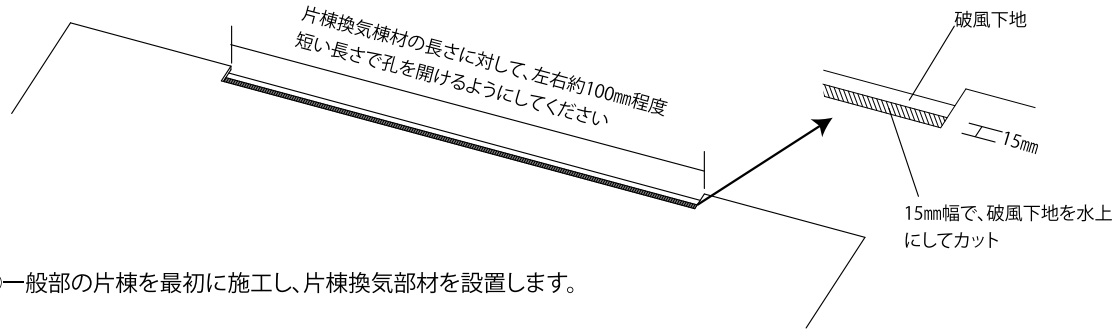
一般地用片棟換気棟　　ヨネキン製　KNV-A　の納まり



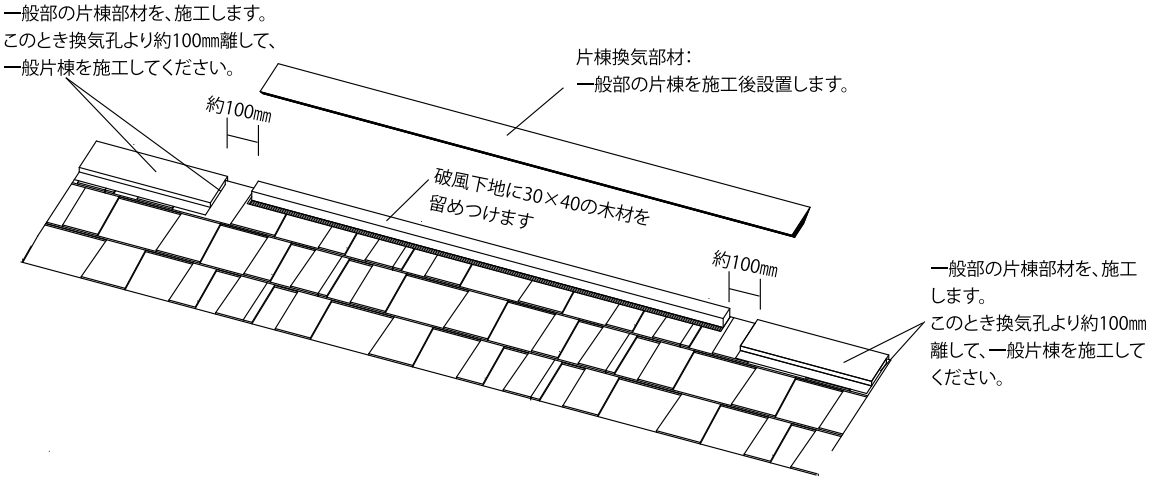
片棟換気棟と片棟の取り合い施工例

片棟換気部と一般片棟部に段差が生じる納まりは、下記施工要領を参考にして納めてください。

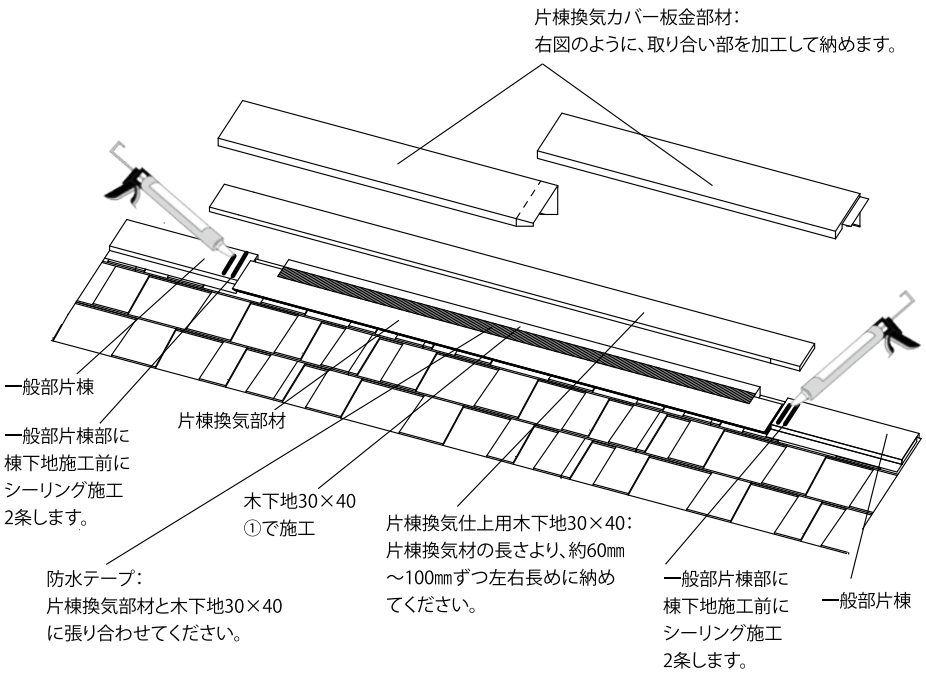
①下記の要件を守って、躯体に換気棟の換気孔を開けます。



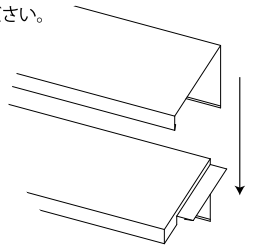
②一般部の片棟を最初に施工し、片棟換気部材を設置します。



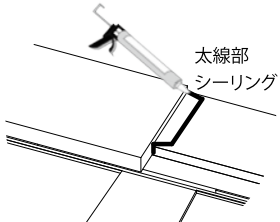
③下図の注意にしたがって、換気棟を仕上げていきます。



片棟換気部と一般片棟部には10～15㎜程度の段差ができますので、片棟換気カバー材を下記のように加工して納めてください。



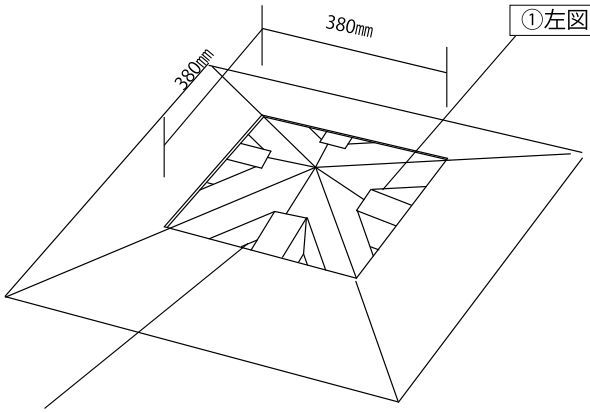
↑片棟換気カバーを
上図を参考に加工してください。



↑加工した片棟換気カバーを
取り合い部に施工して、シーリングで
納めてください。

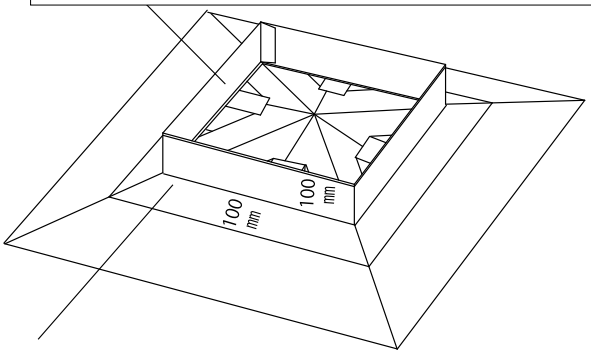
方形屋根の場合の棟換気（ヨネキン製　HV300の場合）

①左図のように方形頂部の野地板を、380㎜角で、開口してください。



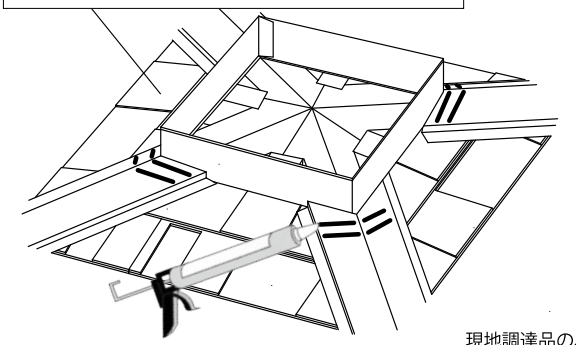
本製品は、対応勾配が4寸～6寸勾配です。勾配がこれ未満の際は漏水が起こりやすく、これ以上の勾配の場合は、腕木が邪魔して、開口が十分に取れない場合が多いです。

②野地部にルーフィングを施工後、現場調達品の捨水切りを下図のように、開口の４方囲むように施工します。



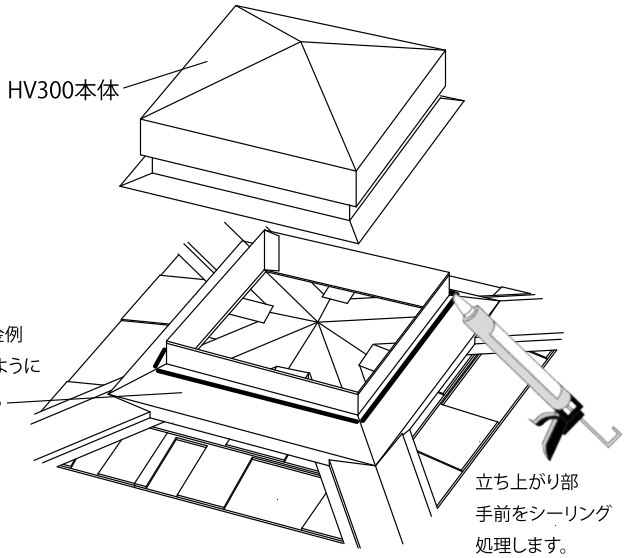
現場調達品の捨水切りの寸法は、立ち上がり方向と野地付け方向共に１００㎜くらいに加工したものを取り付けます。

③オークリッジスーパーと、棟板金（木下地も標準通り）を下図のように、施工します。（Hip&Ridgeの時も同じです）



各棟板金の取り合い際に、シリコン２条を打ってください。

④現地調達品の、雨押え板金を加工して、ＨＶ300の設置面が平らになるように加工した後、HV300を取り付けます。

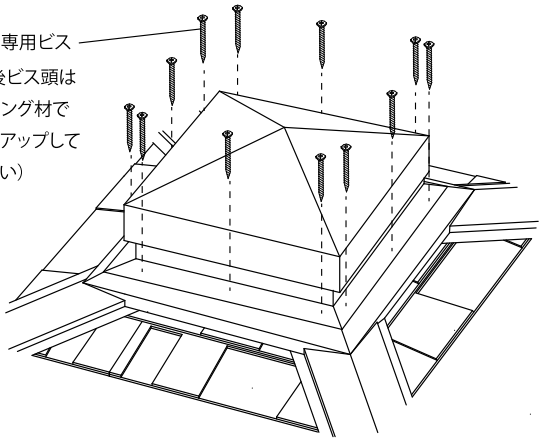


現地調達品の、雨押え板金例
木下地もHV300が納まるように
しっかり施工してください。

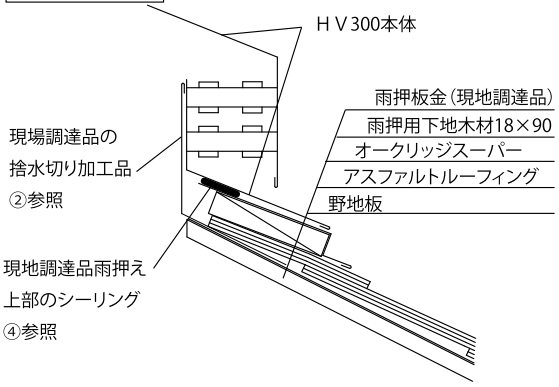
立ち上がり部
手前をシーリング
処理します。

⑤下図のように付属の専用ビスで、雨押え部の木下地を貫通して野地、垂木または腕木に効くように留めつけます

付属の専用ビス
（施工後ビス頭は
シーリング材で
タッチアップして
ください）



製品納まり図

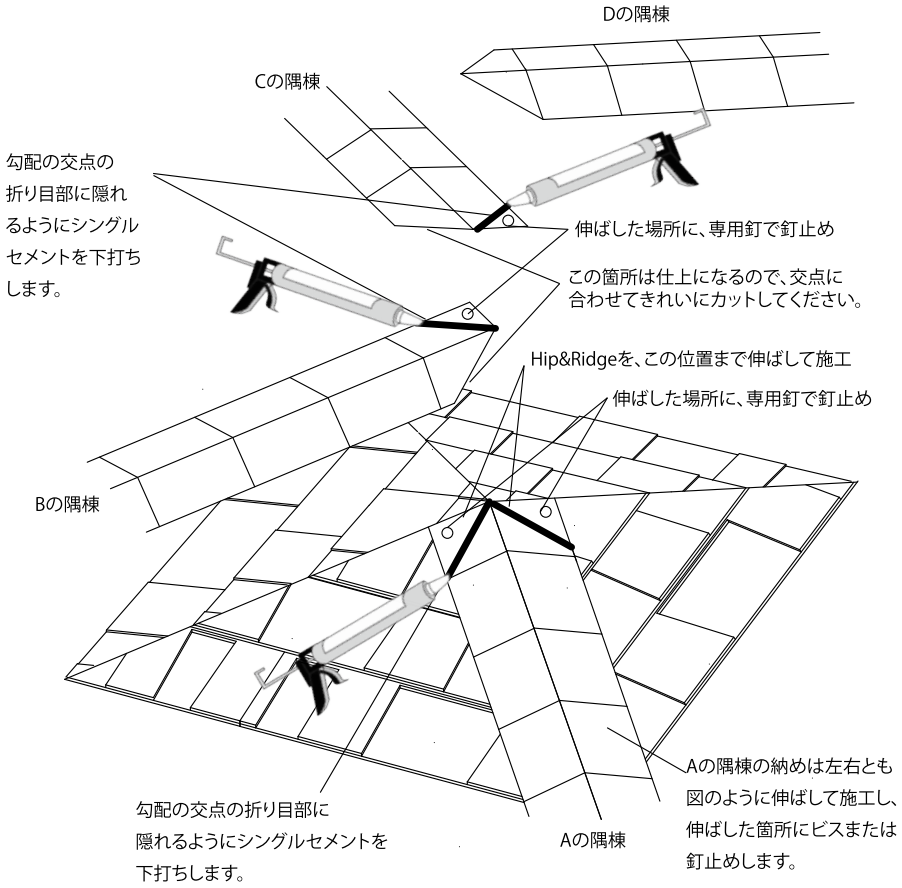


方形屋根のHip&Ridgeでの施工

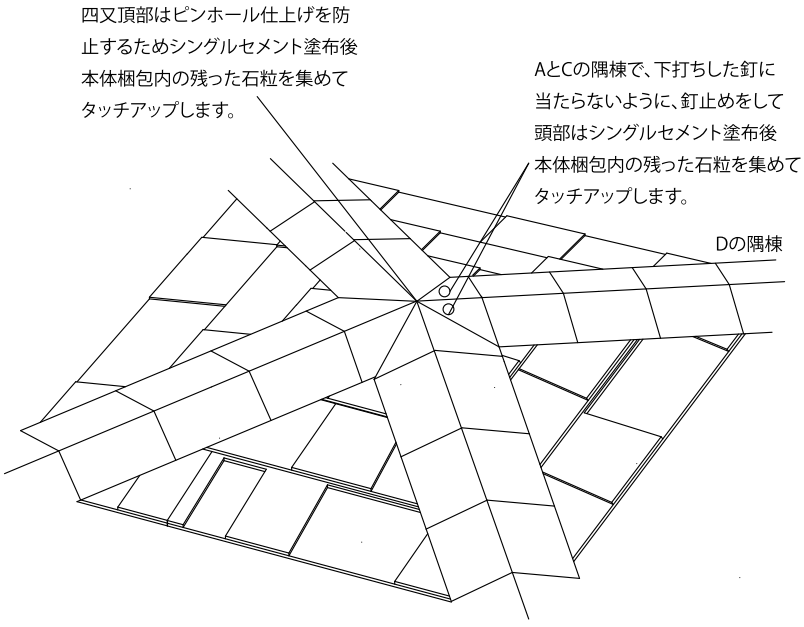
以下は参考納まりの一つです。

①左図中A～Cまでの隅棟の順に重ねて施工します。
図中の注意点をよく守り施工していきます。
Dの隅棟は下図③を参照ください

＊隅棟の施工はHip&Ridgeの施工に準じて施工してください。
また左図はそれぞれの棟をまとめて施工しているように、描いておりますが、隅棟頂部のみ最後に合わせて施工するのが、一般的です。



②最後にDの隅棟を納めます。
右図のように合わせた位置にきれいに納めた後に、下に隠れた釘と重ならないように釘止めをします。
その場所と四又頂部をシングルセメントを塗布して、仕上げにタッチアップ（本体梱包内の石粒をシングルセメント部に接着させる）を行って仕上りです。

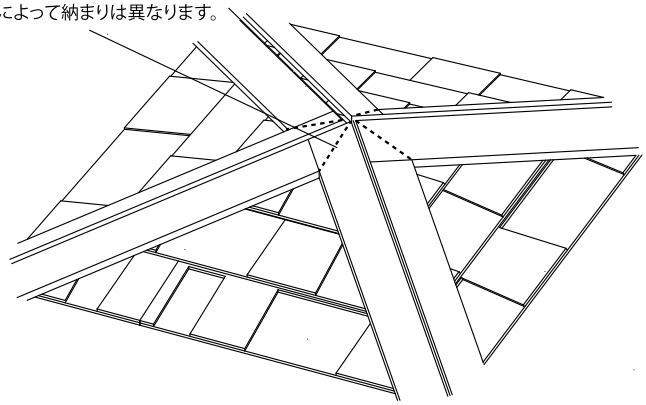


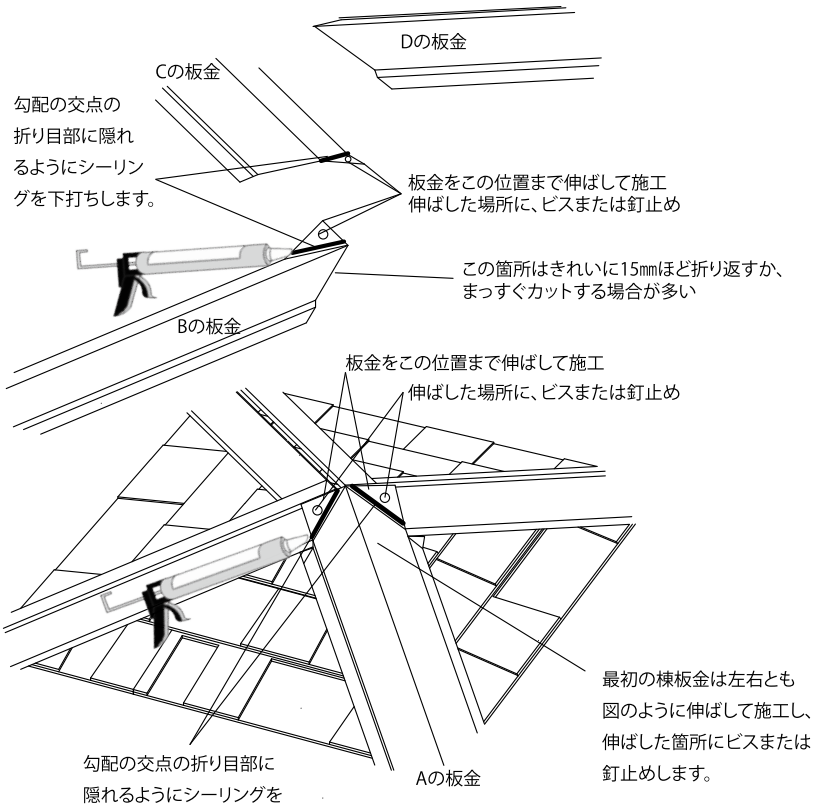
方形屋根の棟板金施工

以下は参考納まりの一つです。

①右図のように棟下地を隅棟に施工します。
（隅棟施工の時と同じく、65㎜以上の木ビスで、@455㎜以内のピッチでそれぞれ留めつけてください）

木下地18×90㎜：
1つの隅棟の下地施工で左右どちらかを図のように伸ばして施工していますが、現場によって納まりは異なります。



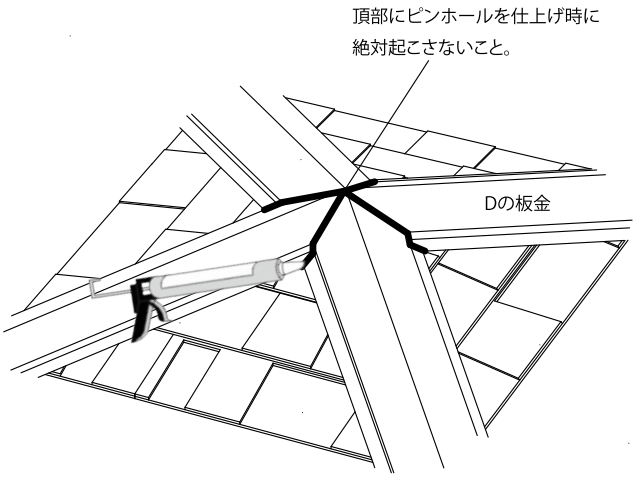


②左図中A～Cまでの板金は図中の注意点をよく守り施工していきます。
Dの板金は下図③を参照ください

＊棟板金の留めつけは隅棟板金の施工と同じ要領で、38㎜以上のステンレス釘を@455㎜以内で、側面立ち上がり部に留めつけてください。

③Dの板金を側面立ち上げ部だけで釘止めして納めた後、太線部を板金の近似色のシーリング材を施工してください。

四又・三又・棟板金の重ねは、仕上げで見える部分なので、できるだけマスキングテープを使用して施工してください。



天窓の納まり

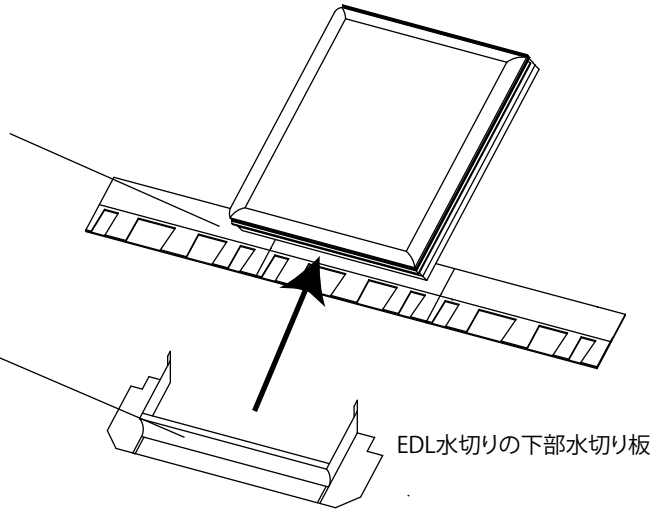
（日本ベルックス社製　ＶＳシリーズ）

（EDL 水切り仕様）

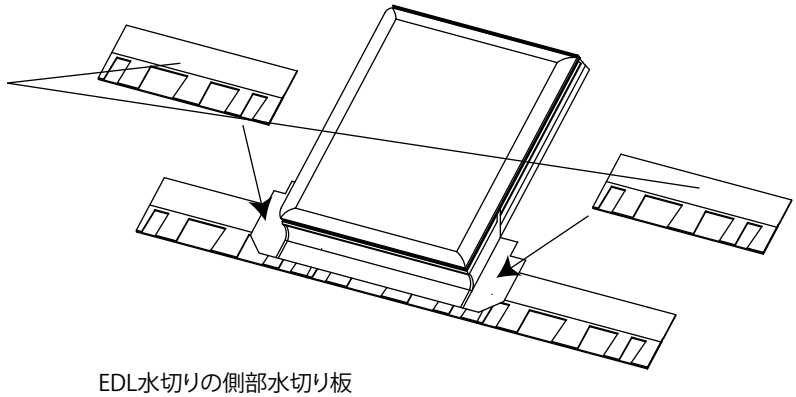
＊天窓の取り付けは、必ず　日本ベルックス社の施工マニュアルを参照してください。

①天窓周りのオークリッジスーパー本体は、出来るだけタイトな納まりになるようにけがき、カットして納めます。

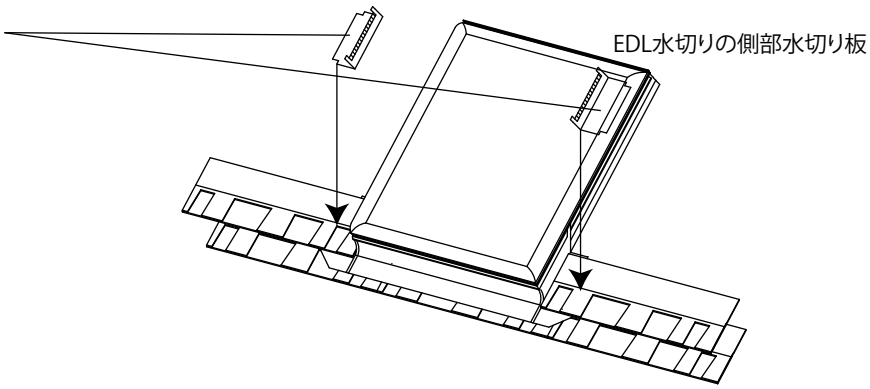
②EDL水切りの下部の水切り板を図のように納めます。



③次の段のオークリッジスーパー本体をEDL水切りの下部水切り板の上に乗せて納めます。

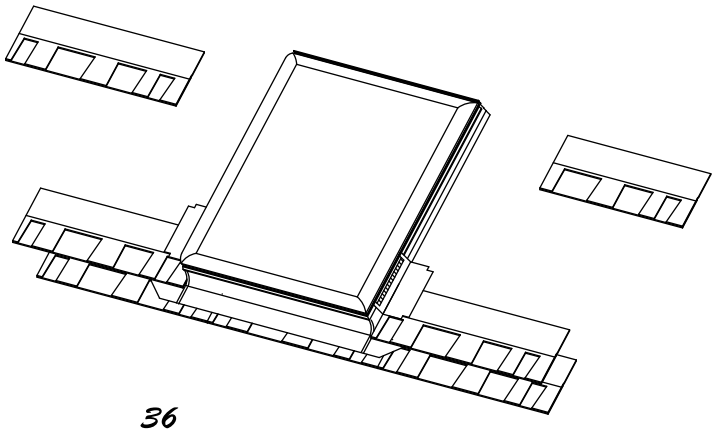


④EDL水切りの側部水切り板を図のように納めます。



⑤１次の段のオークリッジスーパー本体をEDL水切りの側部水切り板の上に乗せて納めます。

この先天窓側面部の施工は④・⑤を繰り返します。



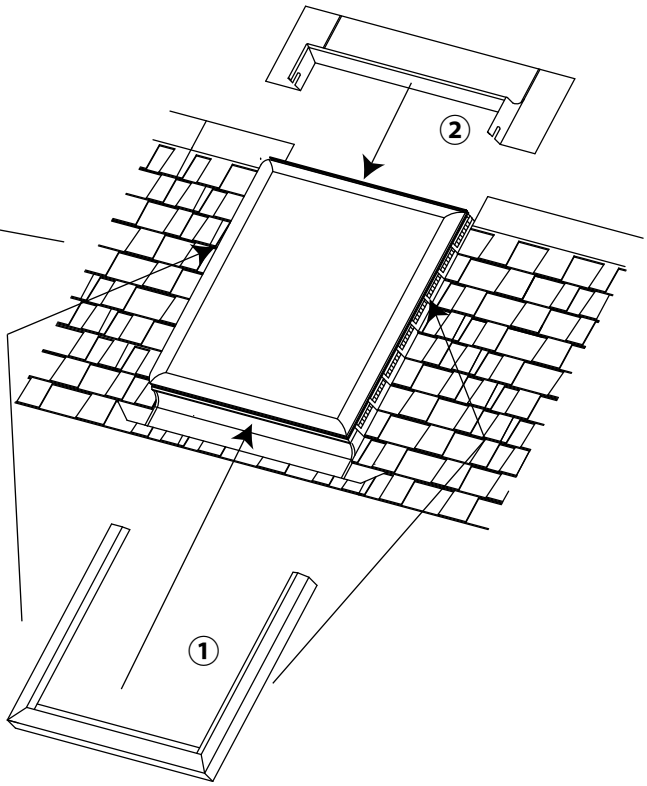
＊天窓の取り付けは、必ず　日本ベルックス社の
施工マニュアルを参照してください。

天窓の納まり

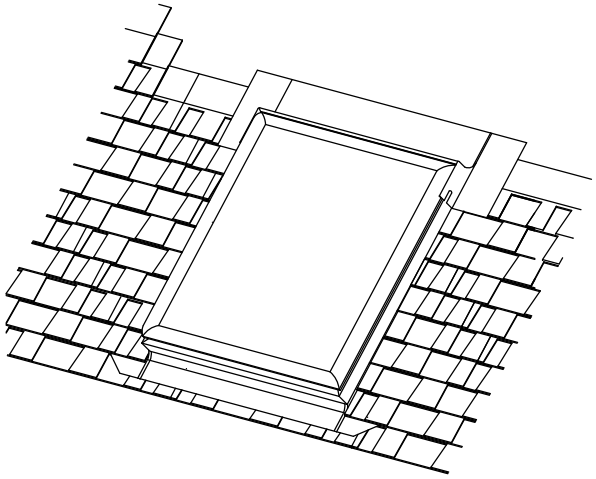
（日本ベルックス社製　ＶＳシリーズ）

（EDL 水切り仕様）

⑥天窓周りの側面部の施工が終了したら、
右図①前と左右の天窓部材付属の外装
板（水切り）→②EDL水切りの上部の水
切り板の順に取り付けていきます。



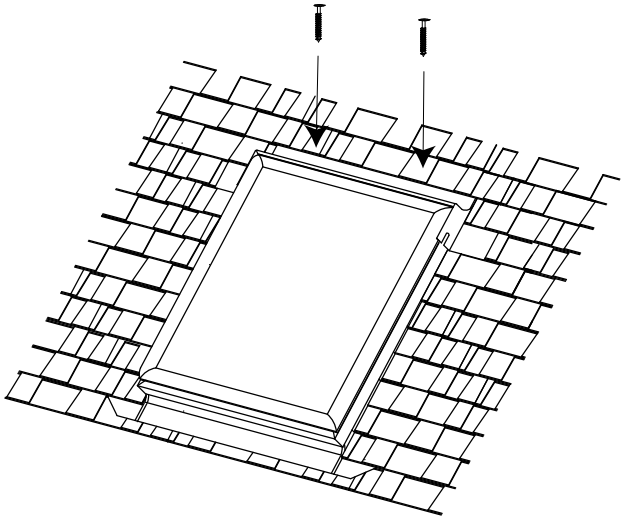
⑦ EDL水切りの上部の水切り板まで取り付け
ましたら、EDL水切りの上部の水切り板の上に
オークリッジスーパー本体を施工していきます。



ビス施工＊必要に応じて施工

（ビス頭はシリコン・石粒などでタッチアップ加工）

⑧ EDL水切りの上部の水切り板周辺のオークリッジ
スーパー本体の割り付けで、風の影響を受けやすい
場合は右図のように上からビスを打ち、タッチアップ
施工されることをおすすめします。



〈この資料に関するお問い合わせ先〉

オーウェンスコーニングジャパン合同会社
建築材料部門
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町2－5－16　名古路ビル新館5階
TEL:03-6365-4300（代表）FAX:03-6365-4281　**http://owenscorning.jp/**

製造販売元：**OWENS CORNING BM KOREA**
18th Floor Ilsong Building 507 Teheran-ro, Gangnam-Gu Seoul, Korea 06168　www.owenscorning.co.kr

OWENS CORNING WORLDHEADQUARTERS
One Owens Corning Parkway Toledo, OHIO, USA 43659　www.owenscorning.com

THE PINK PANTHER™ & © 1964-2019 Metro-Goldwyn-Mayer Studios Inc. All Rights Reserved. The color PINK is a registered trademark of Owens Corning.
Copyright © 2019 Owens Corning Japan, LLC. All Rights Reserved. Publication No. 655741916. Printed in Tokyo, Japan. April 2019.